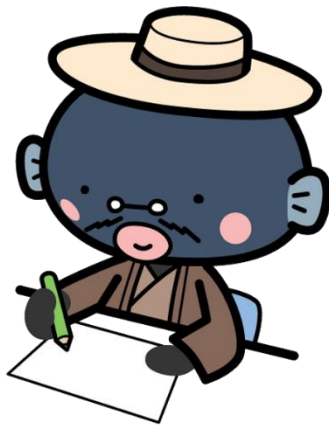


第4期我孫子市障害者プラン
市民アンケート結果報告書



我孫子市 健康福祉部 障害者支援課
令和5年10月

目次

第1章 調査の概要	1
1. 目的	2
2. 実施結果	2
3. 本報告書を読むにあたって	3
第2章 アンケートの結果	4
1. 基本的な事柄	5
(1) 回答者	5
(2) 性別及び年齢	6
(3) お住まいの地区	7
(4) 障害者手帳の取得状況	9
(5) 手帳本人の介護支援者	15
2. 住まい	16
(1) 現在の暮らし方	16
(2) 今後3年をめぐにした暮らし方	19
(3) 今後の暮らし方を実現するために必要なこと	22
3. 平日の日中の過ごし方	24
(1) 現在の平日の日中の過ごし方	24
(2) 今後3年をめぐにした平日の日中の過ごし方	27
(3) 今後の平日の日中の過ごし方を実現するために必要なこと	30
4. 福祉サービス等の利用状況	32
5. 我孫子市の障害者支援の取り組みについて	39
(1) 各施策の満足度	39
(2) 病気や障害の発症予防、重度化予防のために必要なこと	40
6. その他障害福祉についてのご意見	42

第1章

調査の概要

1. 目的

本アンケートは、障害者基本法に基づく障害者計画と障害者総合支援法に基づく障害福祉計画に基づく第4期我孫子市障害者プラン（令和6年度～令和8年度）策定のため、障害のある方の生活実態やサービスの利用状況、サービス利用の意向など、計画策定に必要な基礎資料を得ることを目的としています。

2. 実施結果

（1）実施状況

- ① 対象者 : 我孫子市に登録されている障害に関する手帳をお持ちの方の中から1,000名を無作為に抽出。
- ② 抽出元 : 令和5年5月1日現在の我孫子市障害者台帳から抽出。
- ③ 抽出割合 : 令和5年5月1日現在の障害に関する手帳をお持ちの方1,000名について、年代、手帳の等級・程度、また身体障害者手帳をお持ちの方においては障害別の割合を勘案し、配布数を算出。

手帳の種別	所持者数	配布数	全体における割合
身体障害者手帳	3,530	334	33.4%
療育手帳	1,093	333	33.3%
精神障害者保健福祉手帳	1,360	333	33.3%
総数	5,983	1,000	100.0%

- ④ 回答者 : 原則として、封筒のあて名のご本人が回答。ご本人が回答（記入）できない場合は、ご家族や支援者の方などがご本人と相談したり、ご本人の立場に立って回答。

（2）調査期間：令和5年6月22日～7月7日

（3）回収数・回収率： 対象者数（A）：1,000人
有効回収数（B）：433票
※うちオンライン回答127票、書面回答306票
有効回収率（C）：43.3% ※ $C=B/A \times 100$

3. 本報告書を読むにあたって

○回答率（％）について

回答率（％）は小数点以下第2位を四捨五入していますが、端数処理の関係で、合計が100％にならない箇所があります。

○図表の選択肢について

本報告書における図表の掲載に当たっては、表示の都合上、調査票の選択肢の文言を一部簡略化している場合があります。

例：身体障害者手帳→身障手帳 精神障害者保健福祉手帳→精神手帳 など

○単純集計及び分析について

すべての質問について単純集計を行い、その特徴等を記述しています。有効回答数における集計と、手帳の種別ごとにおける集計では数値が異なります。これは、障害に関する手帳を複数所持している回答者が含まれることによるものです。

○クロス集計及び分析について

本報告書では、特徴的なものについては、男女別、年齢層別、身体障害者手帳の程度別、主な障害の種類別等のクロス集計グラフまたはクロス集計表を掲載し、分析を行っています。

クロス集計表の掲載にあたっては、分析の柱である男女別、年齢層別、身体障害者手帳の程度別、主な障害の種類別等について、「無回答」等の掲載を省略している場合があります。

○自由記載の意見の表現方法について

個人等が特定できる意見、同様の意見が多数ある場合は簡略化もしくは抜粋し、また内容に不明確な箇所があるなど省略している場合があります。

○グラフ中の表記について

グラフ中の選択肢の表記については、簡略化もしくは選択番号での表記としている場合があります。

第2章

アンケートの結果

1. 基本的な事柄

封筒のあて名のご本人について、基本的な事柄をうかがいます。

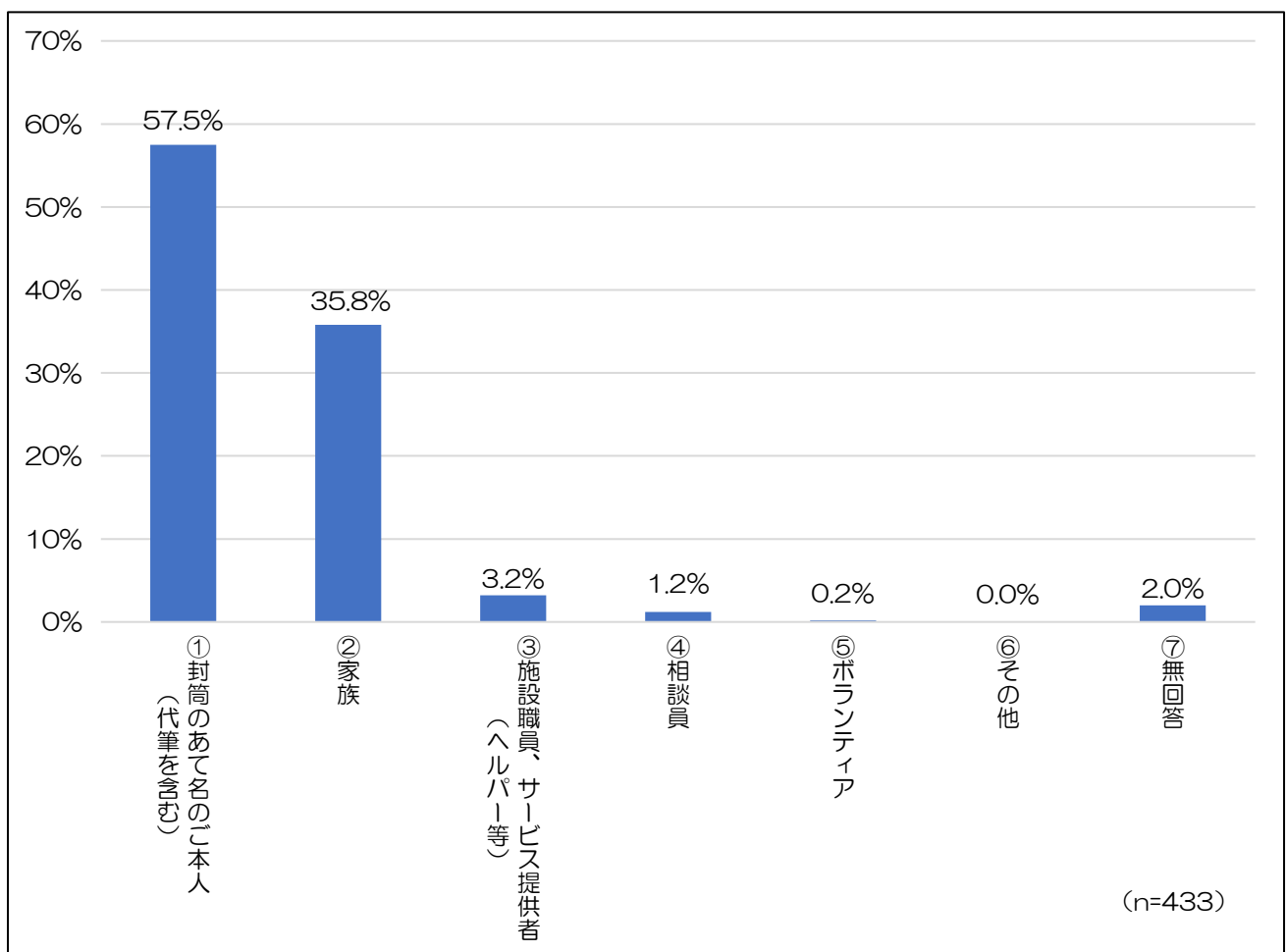
(1) 回答者

問1 この調査に記入していただく方はどなたですか。(あてはまるもの1つに○)

「①封筒のあて名のご本人（代筆を含む）」が最も多く、次いで「家族」でした。

(単位：人)

①	封筒のあて名のご本人（代筆を含む）	249	57.5%
②	家族	155	35.8%
③	施設職員、サービス提供者（ヘルパー等）	14	3.2%
④	相談員	5	1.2%
⑤	ボランティア	1	0.2%
⑥	その他	0	0.0%
⑦	無回答	9	2.0%
アンケート回収数		433	100.0%



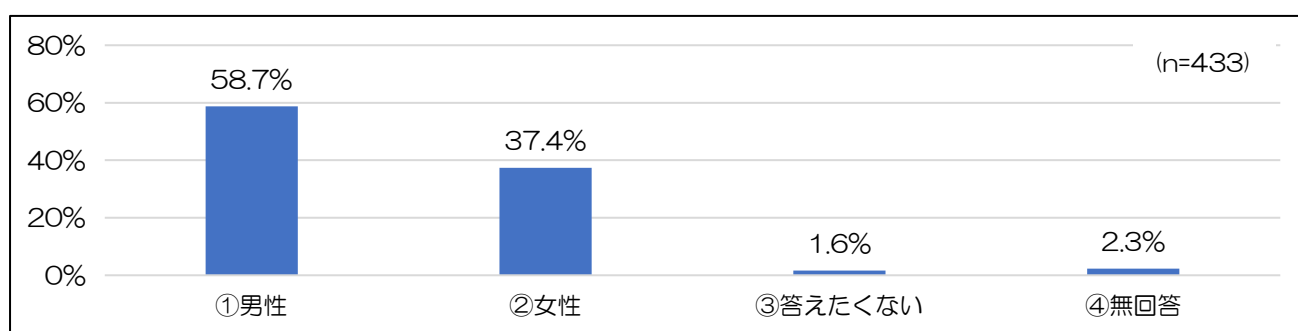
(2) 性別及び年齢

問2 あて名ご本人の性別と年齢を教えてください。(令和5年4月1日現在)

「①男性」が多く、次いで「②女性」でした。

(単位：人)

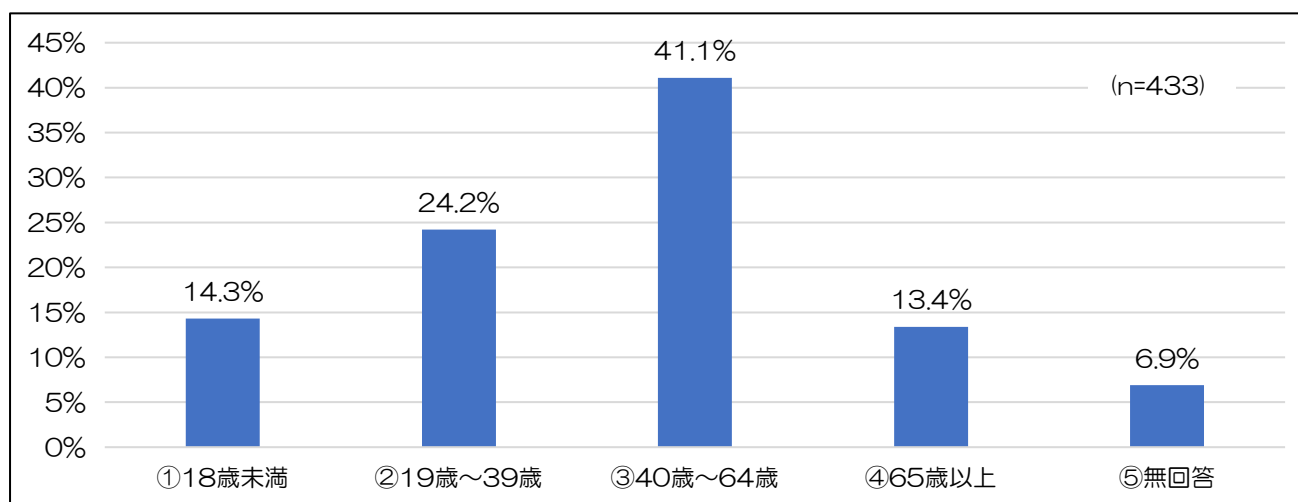
①	男性	254	58.7%
②	女性	162	37.4%
③	答えたくない	7	1.6%
④	無回答	10	2.3%
アンケート回収数		433	100.0%



年齢層別にみると「③40歳～64歳」が最も多く、次いで「②19歳～39歳」となっており、全体の70%を占めていました。

(単位：人)

①	18歳未満	62	14.3%
②	19歳～39歳	105	24.2%
③	40歳～64歳	178	41.1%
④	65歳以上	58	13.4%
⑤	無回答	30	6.9%
アンケート回収数		433	100.0%



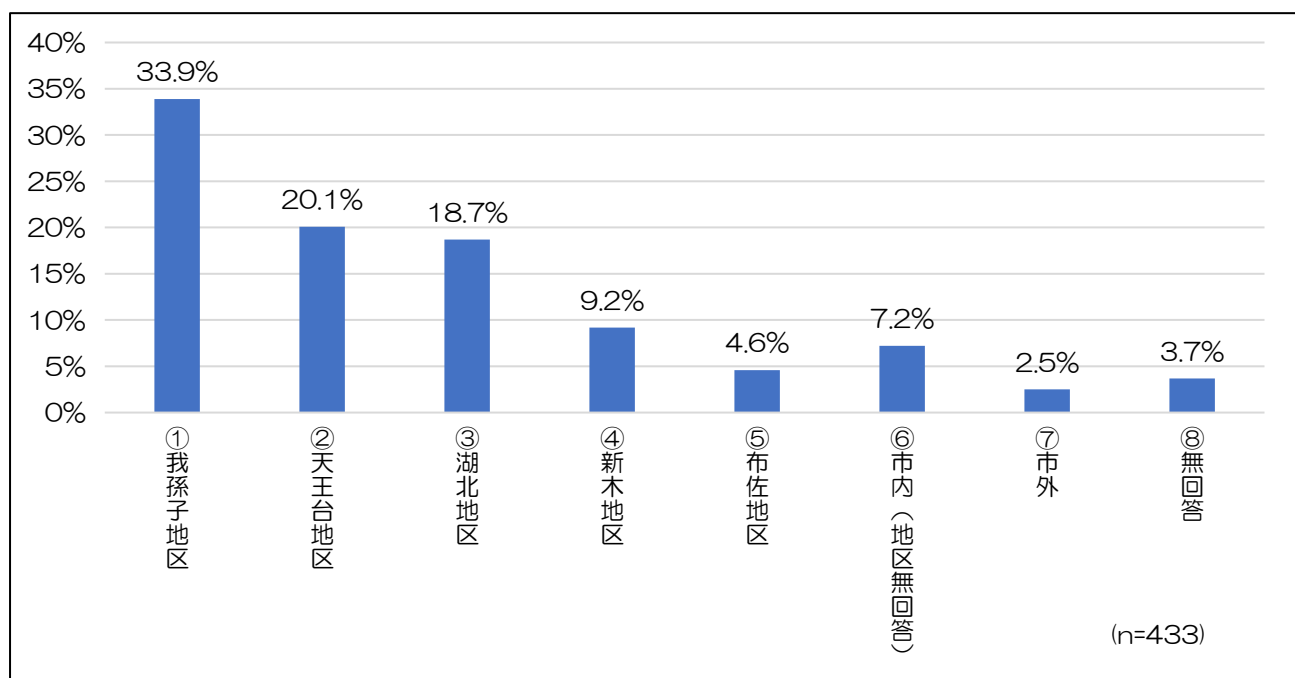
(3) お住まいの地区

問3 おて名ご本人の主なお住まいはどちらですか。市内にお住まいの方は、字名までご記入ください。(令和5年4月1日現在)

「①我孫子地区」が最も多く、次いで「②天王台地区」、「③湖北地区」でした。

(単位：人)

①	我孫子地区	147	33.9%
②	天王台地区	87	20.1%
③	湖北地区	81	18.7%
④	新木地区	40	9.2%
⑤	布佐地区	20	4.6%
⑦	市内(地区無回答)	31	7.2%
⑧	市外	11	2.5%
⑨	無回答	16	3.7%
アンケート回収数		433	100.0%



【我孫子地区】布施、つくし野、我孫子、久寺家、台田、船戸、栄、並木、根戸、白山、寿、緑、本町、若松、根戸新田、我孫子新田

【天王台地区】高野山、高野山新田、岡発戸、岡発戸新田、下ヶ戸、柴崎、柴崎台、青山、青山台、南青山、泉、天王台、東我孫子

【湖北地区】湖北、湖北台、中峠、中峠台、日秀、日秀新田、中里、中里新田、都部、都部新田

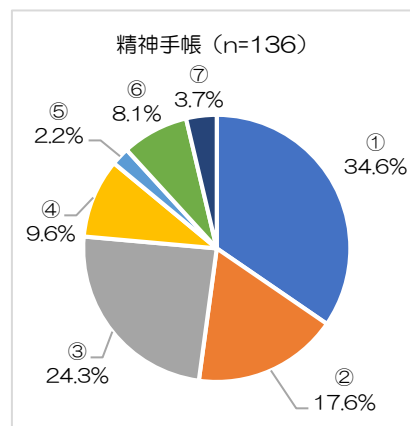
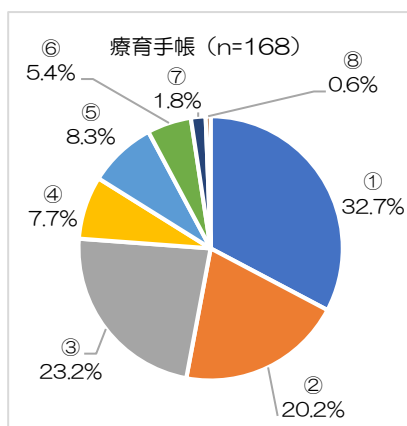
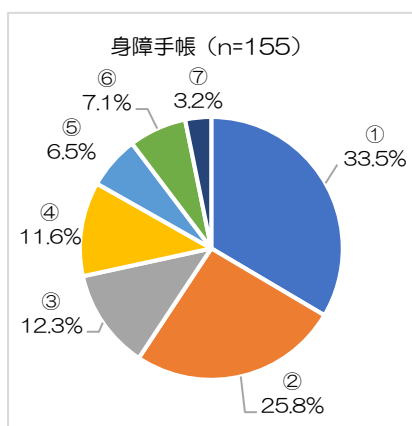
【新木地区】新木、新木野、南新木、古戸

【布佐地区】布佐、布佐西町、布佐平和台、江蔵地、都、相島新田、浅間前新田、新々田、三河屋新田、布佐下新田

○手帳別

(単位：人)

		身障手帳	療育手帳	精神手帳	無回答
①	我孫子地区	52	55	47	2
②	天王台地区	40	34	24	2
③	湖北地区	19	39	33	0
④	新木地区	18	13	13	0
⑤	布佐地区	10	14	3	2
⑥	市内（地区無回答）	11	9	11	1
⑦	市外	5	3	5	1
⑧	無回答	0	1	0	8
合計		155	168	136	16



(4) 障害者手帳の取得状況

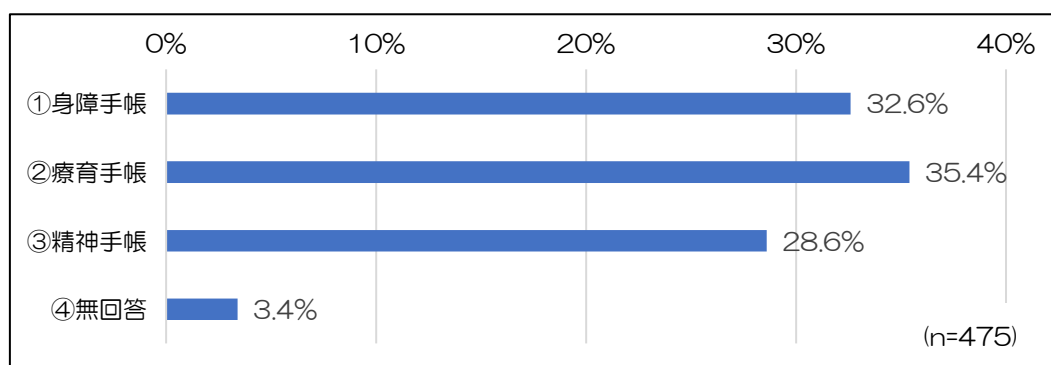
問4 あて名ご本人の障害の種別、程度、障害支援区分（認定されている方のみ）を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

【手帳の種類別の取得状況】

回答者の障害に関する手帳の種類別の取得状況は、「②療育手帳」が最も多く、次いで「①身体障害者手帳」、「③精神障害者保健福祉手帳」でした。

(単位：人)

①	身体障害者手帳	155	32.6%
②	療育手帳	168	35.4%
③	精神障害者保健福祉手帳	136	28.6%
④	無回答	16	3.4%
合計		475	100.0%

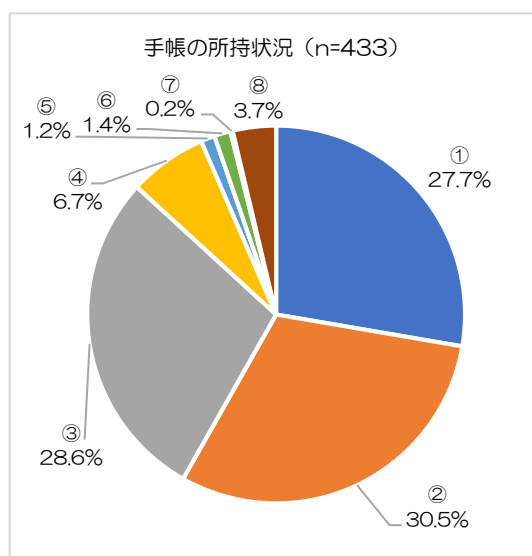


【手帳を所持している方の状況】

回答者の障害に関する手帳の取得状況では、各手帳を単独で所持している方に次いで、「④身体障害者手帳と療育手帳」が最も多く、次いで「⑥療育手帳と精神障害者保健福祉手帳」でした。

(単位：人)

①	身障手帳	120	27.7%
②	療育手帳	132	30.5%
③	精神手帳	124	28.6%
④	身障手帳＋療育手帳	29	6.7%
⑤	身障手帳＋精神手帳	5	1.2%
⑥	療育手帳＋精神手帳	6	1.4%
⑦	身障手帳＋療育手帳＋精神手帳	1	0.2%
⑧	無回答	16	3.7%
合計		433	100.0%



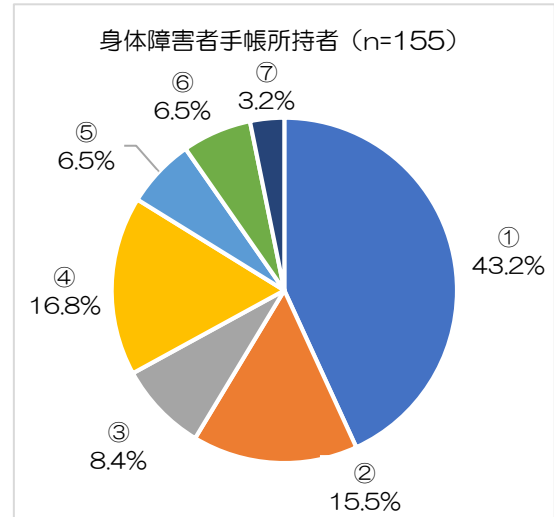
【手帳の種類別の状況】

①身体障害者手帳

身体障害者手帳「①1級」の所持者が67人（43.2%）と最も多く、次いで身体障害者手帳「④4級」の所持者が26人（16.8%）でした。

(単位：人)

①	1級	67	43.2%
②	2級	24	15.5%
③	3級	13	8.4%
④	4級	26	16.8%
⑤	5級	10	6.5%
⑥	6級	10	6.5%
⑦	無回答	5	3.2%
回答数（手帳所持者）		155	100.0%



○性別・年齢層別

身体障害者手帳の程度を年齢別にみると、「40歳～64歳」の「1級」の手帳所持者が25人と最も多く、次いで「40歳～64歳」の「4級」の手帳所持者が18人でした。

(単位：人)

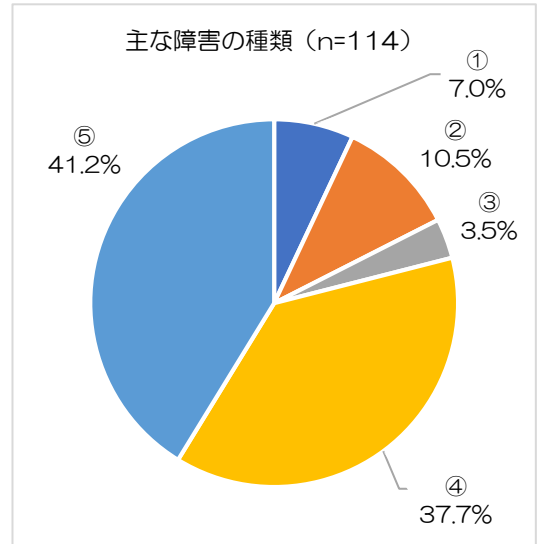
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答	
全体		67	24	13	26	10	10	5	155
性別	男性	42	12	12	17	8	5	2	98
	女性	25	12	1	8	2	4	3	55
	答えたくない	0	0	0	1	0	1	0	2
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
年齢層別	18歳未満	9	3	1	0	0	1	0	14
	19歳～39歳	14	5	2	1	0	0	1	23
	40歳～64歳	25	11	6	18	5	7	1	73
	65歳以上	16	5	4	6	5	2	3	41
	無回答	3	0	0	1	0	0	0	4

○主な障害の種類

身体障害者手帳を所持している方に主な障害の種類をたずねたところ、「内部障害」が47人（41.2%）と最も多く、次いで「肢体不自由」が43人（37.7%）でした。

（単位：人）

①	視覚	8	7.0%
②	聴覚・平衡機能	12	10.5%
③	音声・言語・そしゃく機能	4	3.5%
④	肢体不自由（上肢・下肢・体幹機能）	43	37.7%
⑤	内部障害（心臓・腎臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓・免疫機能）	47	41.2%
回答数（手帳所持者）		114	100.0%



○主な障害の種類における性別・年齢層別

身体障害を持っている方の主な障害の種類を年齢層別にみると、「40歳～64歳」の「内部障害」が25人と最も多く、次いで「40歳～64歳」の「肢体不自由」が14人でした。

（単位：人）

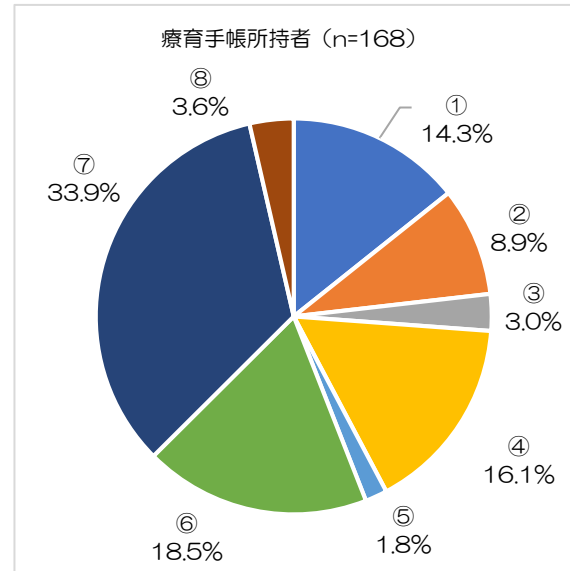
		①	②	③	④	⑤	合計
		視覚	聴覚 平衡	音声 言語	肢体 不自由	内部 障害	
全体		8	12	4	43	47	114
性別	男性	5	7	4	26	36	78
	女性	3	4	0	17	11	35
	答えたくない	0	1	0	0	0	1
	無回答	0	0	0	0	0	0
年齢層別	18歳未満	0	1	0	6	4	11
	19歳～39歳	0	0	0	12	4	16
	40歳～64歳	6	8	2	14	25	55
	65歳以上	2	3	2	11	12	30
	無回答	0	0	0	0	2	2

②療育手帳

療育手帳を所持していると回答された方のうち、療育手帳「⑦Bの2」の所持者が57人（33.9%）と最も多く、次いで療育手帳「⑥Bの1」の所持者が31人（18.5%）でした。

（単位：人）

①	㊦の1	24	14.3%
②	㊦の2	15	8.9%
③	㊦	5	3.0%
④	Aの1	27	16.1%
⑤	Aの2	3	1.8%
⑥	Bの1	31	18.5%
⑦	Bの2	57	33.9%
⑧	無回答	6	3.6%
回答数（手帳所持者）		168	100.0%



○性別・年齢層別

療育手帳の程度を性別にみると、男性の手帳所持者は103人で、女性の手帳所持者62人の約2倍でした。また、年齢層別にみると、「18歳未満」の「Bの2」の所持者が27人で最も多く、次いで「19歳～39歳」の「Bの2」の所持者が16人でした。

（単位：人）

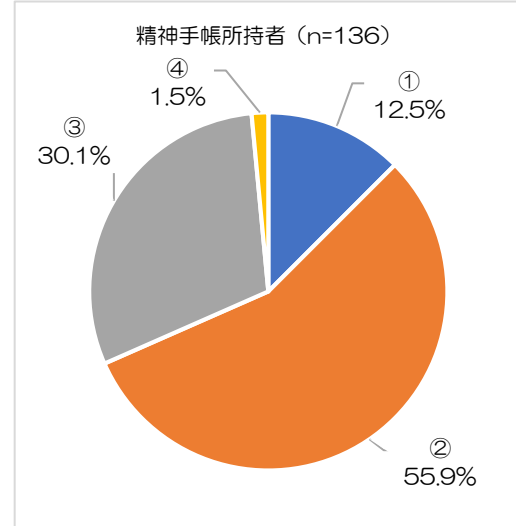
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
		㊦の1	㊦の2	㊦	Aの1	Aの2	Bの1	Bの2	無回答	
全体		24	15	5	27	3	31	57	6	168
性別	男性	12	12	5	14	0	20	37	3	103
	女性	12	3	0	13	3	11	18	2	62
	答えたくない	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	1	1	2
年齢層別	18歳未満	2	1	5	7	0	10	27	1	53
	19歳～39歳	11	9	0	10	2	11	16	3	62
	40歳～64歳	9	4	0	7	1	7	12	1	41
	65歳以上	1	0	0	1	0	2	0	0	4
	無回答	1	1	0	2	0	1	2	1	8

③精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳を所持していると回答された方のうち、精神障害者保健福祉手帳「②2級」の所持者が76人（55.9%）と最も多く、次いで精神障害者保健福祉手帳「③3級」の所持者が41人（30.1%）でした。

（単位：人）

①	1級	17	12.5%
②	2級	76	55.9%
③	3級	41	30.1%
④	無回答	2	1.5%
回答数（手帳所持者）		136	100.0%



○性別・年齢層別

精神障害者保健福祉手帳の程度を年齢層別にみると、「40歳～64歳」の精神障害者保健福祉手帳「2級」の所持者が43人で最も多く、次いで「19歳～39歳」の精神障害者保健福祉手帳「2級」の所持者が22人でした。

（単位：人）

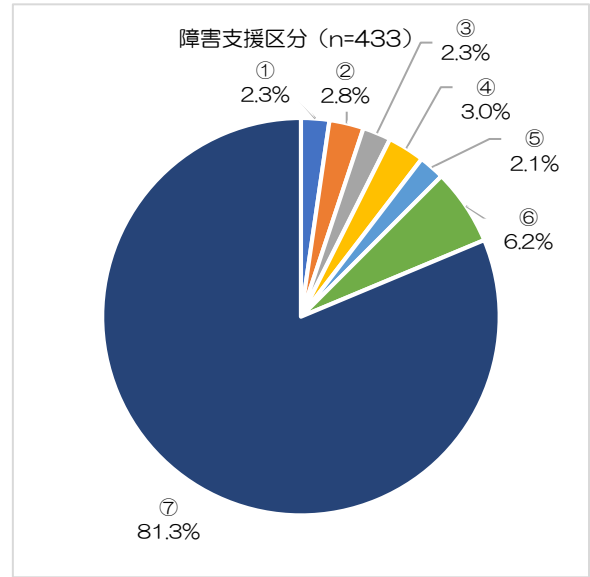
		①	②	③	④	合計
		1級	2級	3級	無回答	
全体		17	76	41	2	136
性別	男性	7	42	20	1	70
	女性	10	32	19	1	62
	答えたくない	0	1	2	0	3
	無回答	0	1	0	0	1
年齢層別	18歳未満	0	1	3	0	4
	19歳～39歳	2	22	15	0	39
	40歳～64歳	8	43	19	1	71
	65歳以上	6	6	1	1	14
	無回答	1	4	3	0	8

【障害支援区分】

「⑥障害支援区分6」の方が27人（6.2%）と最も多く、次いで「④障害支援区分4」の方が13人（3.0%）でした。

（単位：人）

①	障害支援区分1	10	2.3%
②	障害支援区分2	12	2.8%
③	障害支援区分3	10	2.3%
④	障害支援区分4	13	3.0%
⑤	障害支援区分5	9	2.1%
⑥	障害支援区分6	27	6.2%
⑦	無回答	352	81.3%
アンケート回収数		433	100.0%



○性別・年齢層別・手帳別

障害支援区分を手帳別にみると、「療育手帳」で「障害支援区分6」の方が24人と最も多く、次いで「身体障害者手帳」で「障害支援区分6」の方が11人でした。

（単位：人）

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
		障害支援区分1	障害支援区分2	障害支援区分3	障害支援区分4	障害支援区分5	障害支援区分6	無回答	
全体		10	12	10	13	9	27	352	433
性別	男性	7	8	4	5	6	14	210	254
	女性	3	4	6	8	3	13	125	162
	答えたくない	0	0	0	0	0	0	7	7
	無回答	0	0	0	0	0	0	10	10
年齢層別	18歳未満	2	0	0	0	1	0	59	62
	19歳～39歳	1	3	3	5	5	11	77	105
	40歳～64歳	7	6	6	8	3	10	138	178
	65歳以上	0	3	1	0	0	3	51	58
	無回答	0	0	0	0	0	3	27	30
手帳別	身障手帳	5	4	3	3	3	11	126	155
	療育手帳	6	5	5	11	6	24	111	168
	精神手帳	0	3	4	1	2	0	126	136
	無回答	1	0	0	0	0	0	15	16

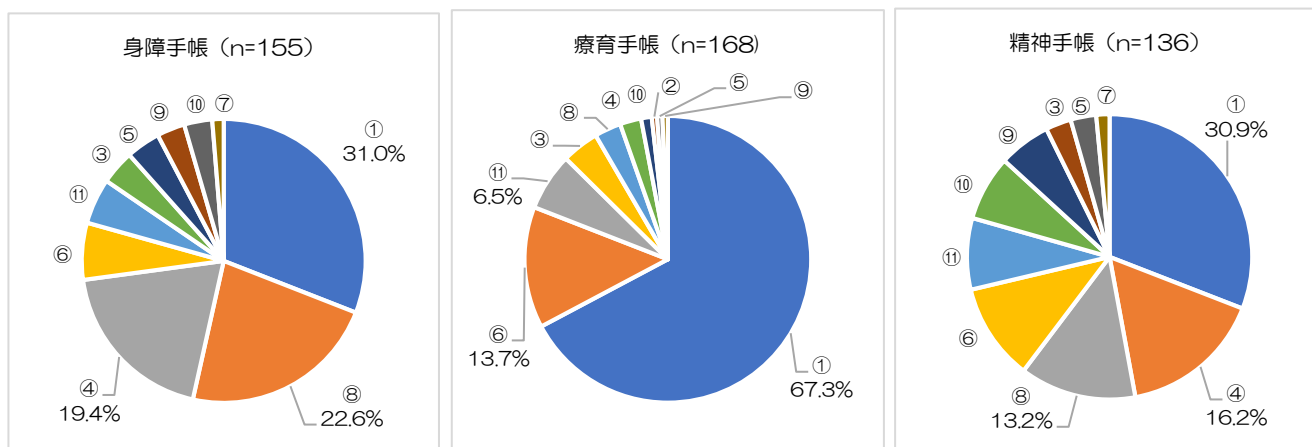
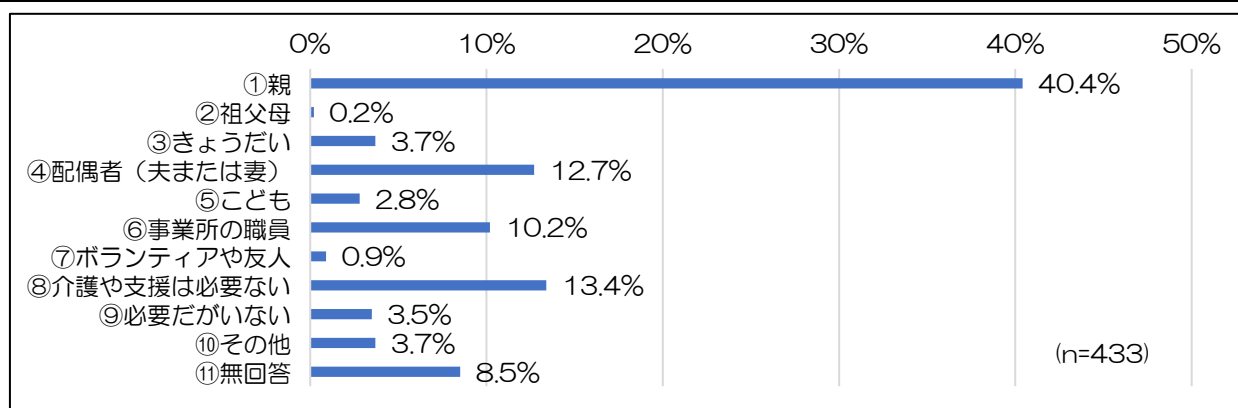
(5) 手帳本人の介護支援者

問5 あて名ご本人の介護や支援をしている方はどなた（年齢）ですか。（主なもの1つに○）

「①親」が175人（40.4%）と最も多く、次いで「⑧介護や支援は必要ない」が58人（13.4%）でした。

（単位：人）

①	親	175	40.4%
②	祖父母	1	0.2%
③	きょうだい	16	3.7%
④	配偶者（夫または妻）	55	12.7%
⑤	こども	12	2.8%
⑥	事業所の職員	44	10.2%
⑦	ボランティアや友人	4	0.9%
⑧	介護や支援は必要ない	58	13.4%
⑨	必要だがいない	15	3.5%
⑩	その他	16	3.7%
⑪	無回答	37	8.5%
アンケート回収数		433	100.0%



※円グラフの各項目（①～⑪）は、回答数の多い順に並んでいます。

2. 住まい

あて名ご本人の住まいについてうかがいます。

(1) 現在の暮らし方

問6 あて名ご本人は、現在どのように暮らしていますか。(主なもの1つに○)

「②自宅で家族と暮らしている」が最も多く、次いで「①自宅でひとり暮らし」、「③障害者向けのグループホーム・生活ホーム」でした。

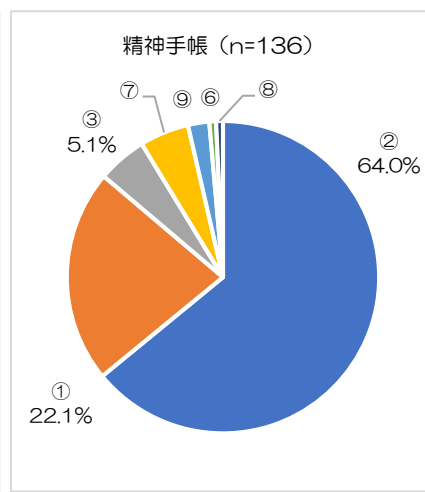
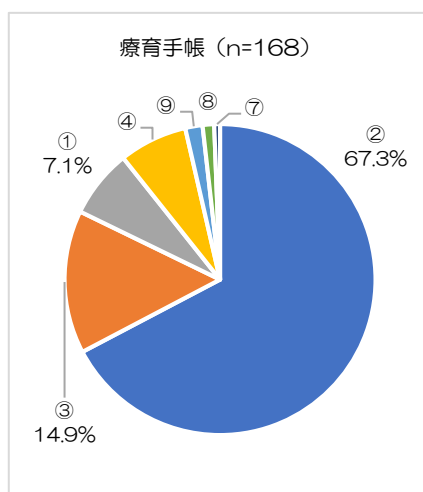
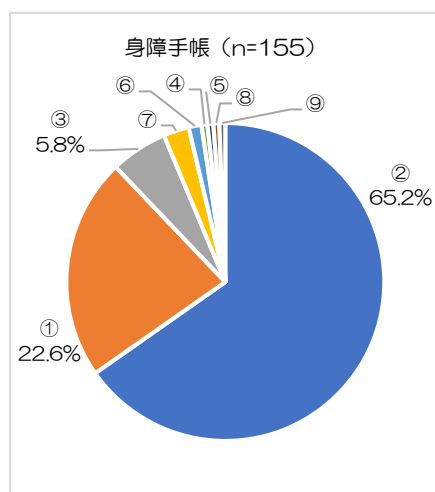
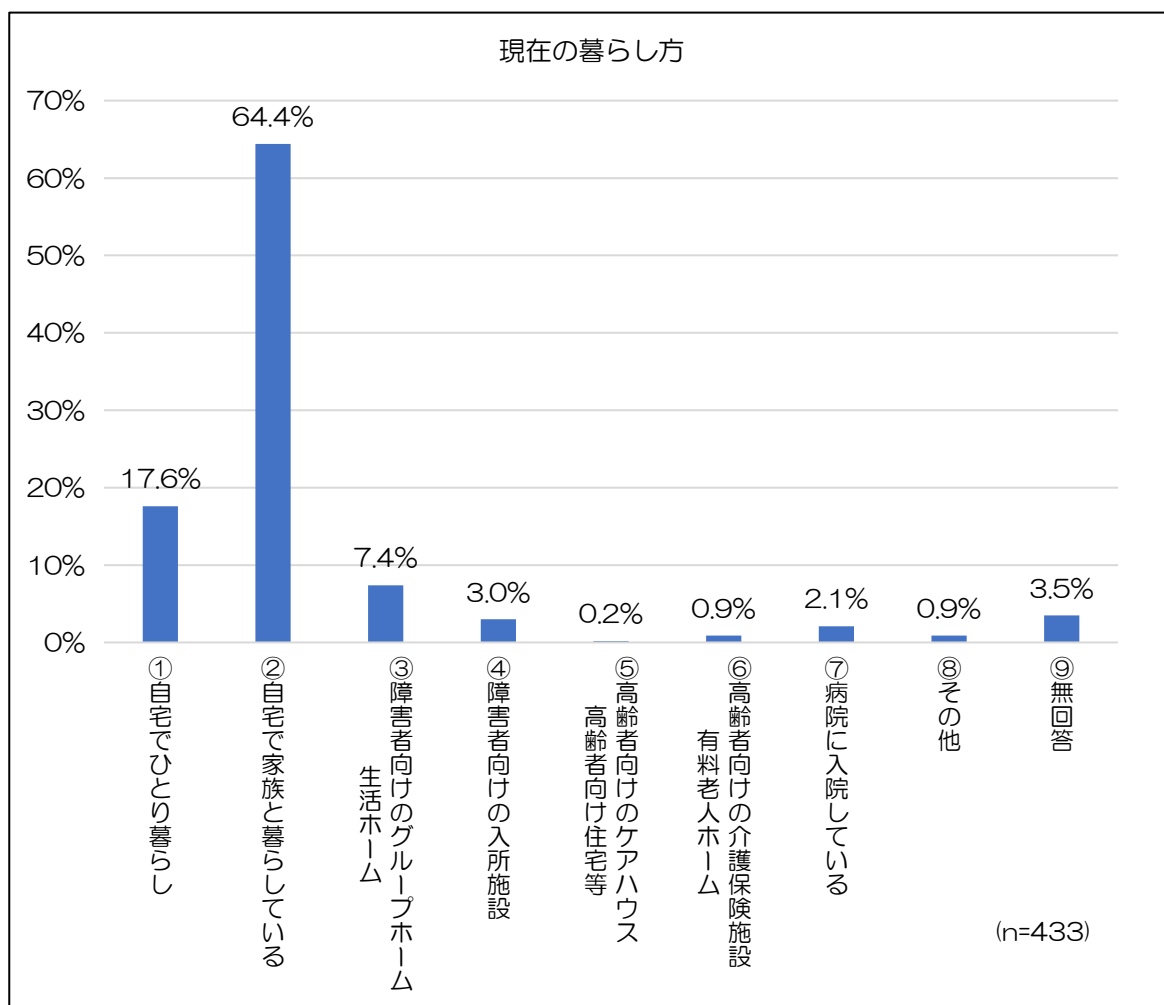
(単位：人)

①	自宅(持ち家・賃貸等)でひとり暮らし	76	17.6%
②	自宅で家族と暮らしている	279	64.4%
③	障害者向けのグループホーム・生活ホーム	32	7.4%
④	障害者向けの入所施設	13	3.0%
⑤	高齢者向けのケアハウス・高齢者向け住宅等	1	0.2%
⑥	高齢者向けの介護保険施設・有料老人ホーム等	4	0.9%
⑦	病院に入院している	9	2.1%
⑧	その他	4	0.9%
⑨	無回答	15	3.5%
アンケート回収数		433	100.0%

○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
		自宅での暮らし	自宅で家族と暮らしている	障害者向けのグループホーム 生活ホーム	障害者向けの入所施設	高齢者向けのケアハウス 高齢者向け住宅等	高齢者向けの介護保険施設 有料老人ホーム等	病院に入院している	その他	無回答	合計
性別	男性	55	161	14	10	1	2	6	2	3	254
	女性	19	112	18	3	0	2	3	2	3	162
	答えたくない	2	5	0	0	0	0	0	0	0	7
	無回答	0	1	0	0	0	0	0	0	9	10
年齢層別	18歳未満	3	56	0	1	0	0	0	0	2	62
	19～39歳	7	82	13	2	0	0	0	0	1	105
	40～64歳	50	93	16	8	0	1	4	4	2	178
	65歳以上	13	35	1	1	1	3	4	0	0	58
	無回答	3	13	2	1	0	0	1	0	10	30
手帳別	身障手帳	35	101	9	1	1	2	4	1	1	155
	療育手帳	12	113	25	12	0	0	1	2	3	168
	精神手帳	30	87	7	0	0	1	7	1	3	136
	無回答	0	6	1	0	0	1	0	0	8	16



※円グラフの各項目(①～⑨)は、回答数の多い順に並んでいます。

(2) 今後3年をめどにした暮らし方

問7 あて名ご本人は、今後3年をめどにどのように暮らしたいですか。(主なもの1つに○)

「②自宅で家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、次いで「①自宅でひとり暮らしをしたい」、「③障害者向けのグループホーム・生活ホームで暮らしたい」でした。

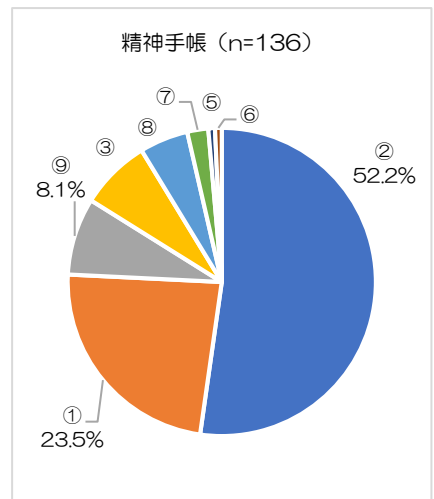
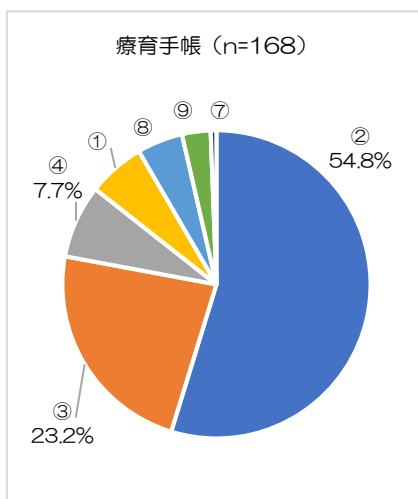
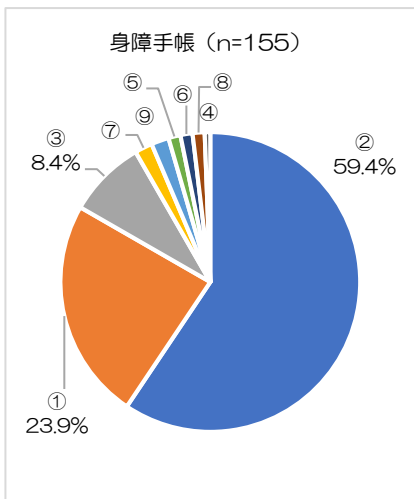
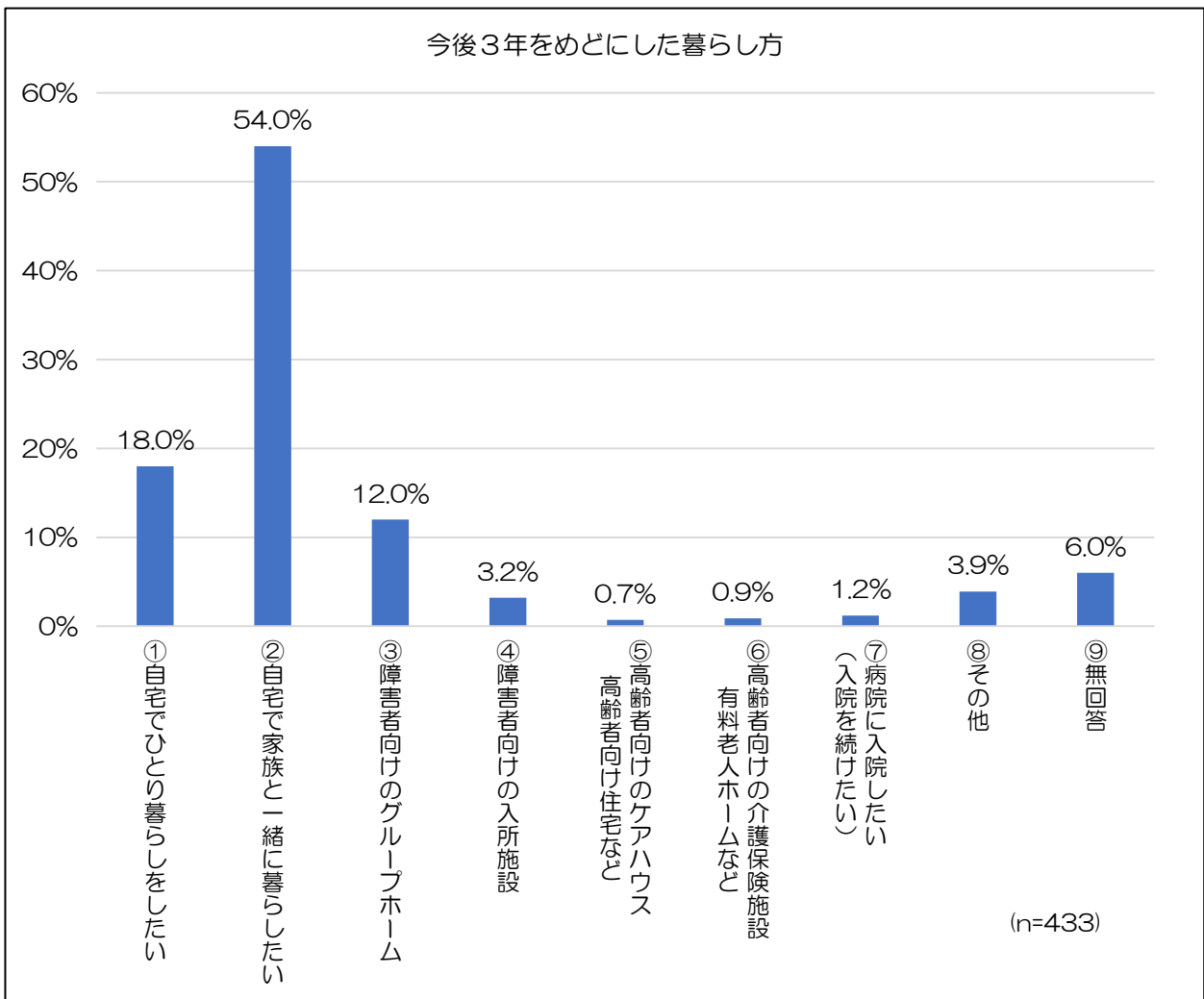
(単位：人)

①	自宅（持ち家・賃貸等）でひとり暮らしをしたい	78	18.0%
②	自宅で家族と一緒に暮らしたい	234	54.0%
③	障害者向けのグループホーム・生活ホームで暮らしたい	52	12.0%
④	障害者向けの入所施設で暮らしたい	14	3.2%
⑤	高齢者向けのケアハウス・高齢者向け住宅等で暮らしたい	3	0.7%
⑥	高齢者向けの介護保険施設・有料老人ホーム等で暮らしたい	4	0.9%
⑦	病院に入院したい（入院を続けたい）	5	1.2%
⑧	その他	17	3.9%
⑨	無回答	26	6.0%
アンケート回収数		433	100.0%

○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
		自宅でひとり暮らしをしたい	自宅で家族と一緒に暮らしたい	障害者向けのグループホーム 生活ホームで暮らしたい	障害者向けの入所施設で暮らしたい	高齢者向けのケアハウス 高齢者向け住宅等で暮らしたい	有料老人ホーム等で暮らしたい 高齢者向けの介護保険施設	病院に入院したい（入院を続けたい）	その他	無回答	合計
性別	男性	57	138	21	11	2	1	3	10	11	254
	女性	18	92	30	2	1	3	2	7	7	162
	答えたくない	2	4	1	0	0	0	0	0	0	7
	無回答	1	0	0	1	0	0	0	0	8	10
年齢層別	18歳未満	2	55	2	1	0	0	0	0	2	62
	19～39歳	19	55	20	2	0	0	0	6	3	105
	40～64歳	47	79	22	9	0	0	3	10	8	178
	65歳以上	8	35	1	1	3	4	2	1	3	58
	無回答	2	10	7	1	0	0	0	0	10	30
手帳別	身障手帳	37	92	13	1	2	2	3	2	3	155
	療育手帳	10	92	39	13	0	0	1	8	5	168
	精神手帳	32	71	10	0	1	1	3	7	11	136
	無回答	1	4	2	0	0	1	0	0	8	16



※円グラフの各項目(①～⑨)は、回答数の多い順に並んでいます。

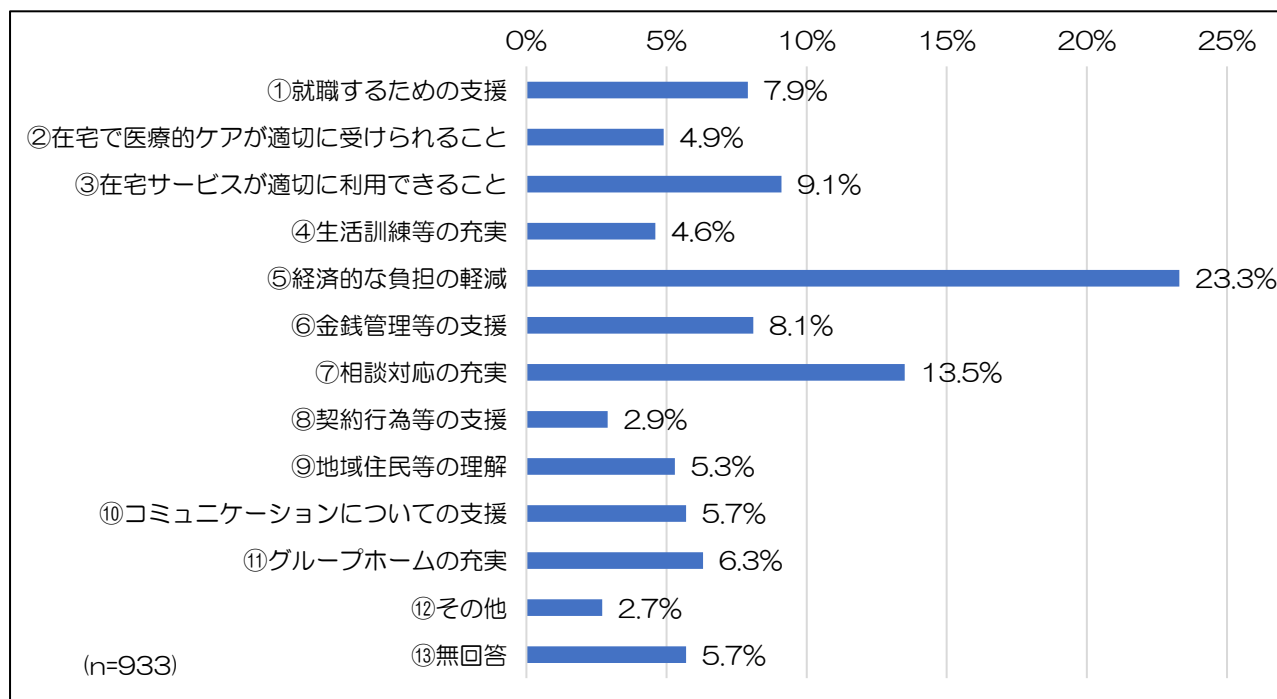
(3) 今後の暮らし方を実現するために必要なこと

問8 問7の暮らし方を実現するためにはどのようなことが必要だと感じますか。(主なものの3つに〇)

「⑤経済的な負担の軽減」が最も多く、次いで「⑦相談対応の充実」、「③在宅サービスが適切に利用できること」でした。

(単位：人)

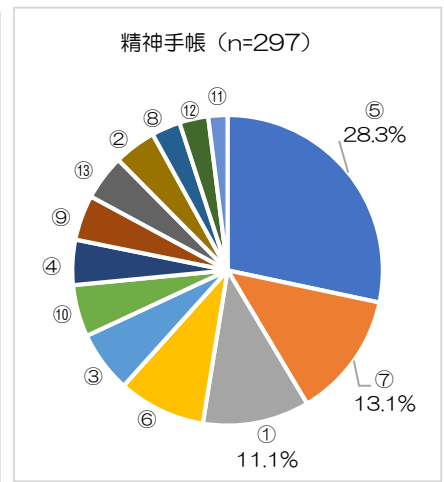
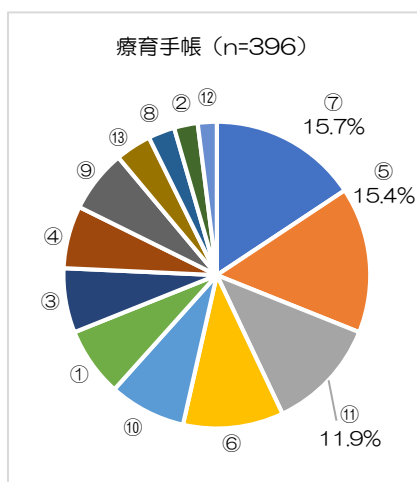
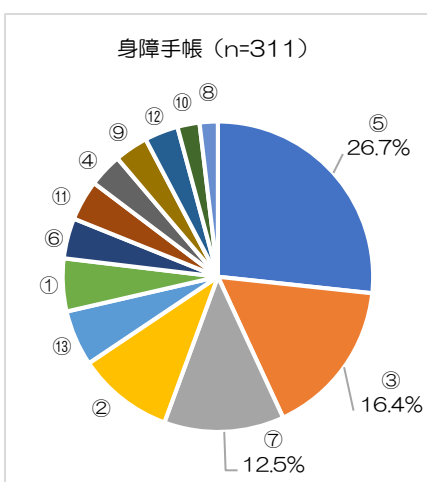
①	就職するための支援	74	7.9%
②	在宅で医療的ケアが適切に受けられること	46	4.9%
③	在宅サービスが適切に利用できること	85	9.1%
④	生活訓練等の充実	43	4.6%
⑤	経済的な負担の軽減	217	23.3%
⑥	金銭管理等の支援	76	8.1%
⑦	相談対応の充実	126	13.5%
⑧	契約行為等の支援	27	2.9%
⑨	地域住民等の理解	49	5.3%
⑩	コミュニケーションについての支援	53	5.7%
⑪	グループホームの充実	59	6.3%
⑫	その他	25	2.7%
⑬	無回答	53	5.7%
合計		933	100.0%



○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	合計
		就職するための支援	適切に受けられること 在宅で医療的ケアが	適切に利用できること 在宅サービスが	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	金銭管理等の支援	相談対応の充実	契約行為等の支援	地域住民等の理解	コミュニケーションに ついで支援	グループホームの充実	その他	無回答	
性別	男性	46	22	44	29	139	41	74	14	27	41	26	15	29	547
	女性	28	23	41	14	74	29	46	10	20	9	32	10	17	353
	答えたくない	0	1	0	0	3	3	4	1	2	2	0	0	1	17
	無回答	0	0	0	0	1	3	2	2	0	1	1	0	6	16
年齢層別	18歳未満	23	3	6	14	31	11	17	2	9	17	10	4	4	151
	19～39歳	11	10	20	11	50	23	32	11	19	12	17	7	12	235
	40～64歳	36	11	35	16	95	28	60	8	17	20	21	10	20	377
	65歳以上	0	20	22	1	29	6	11	1	3	2	5	3	8	111
	無回答	0	2	2	1	12	8	6	5	1	2	6	1	9	55
手帳別	身障手帳	17	31	51	11	83	13	39	6	11	7	13	11	18	311
	療育手帳	29	10	27	26	61	42	62	11	26	32	47	8	15	396
	精神手帳	33	13	19	14	84	27	39	9	14	16	6	9	14	297
	無回答	1	0	2	0	3	1	1	1	0	3	3	0	9	24



※円グラフの各項目(①～⑬)は、回答数の多い順に並んでいます。

3. 平日の日中の過ごし方

(1) 現在の平日の日中の過ごし方

問9 あて名ご本人は、平日の日中どのように過ごしていますか。(主なもの1つに○)

「⑪自宅で過ごしている」が最も多く、次いで「②企業等で働いている」でした。

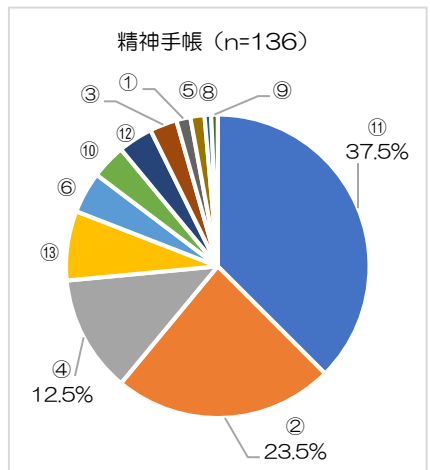
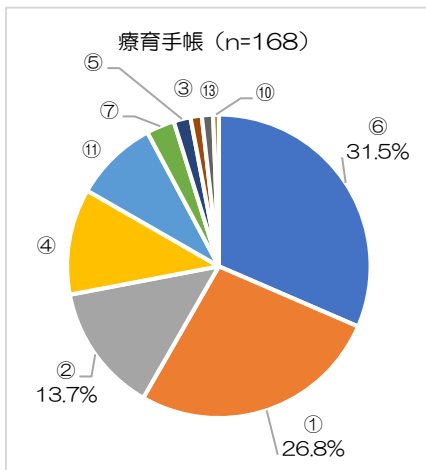
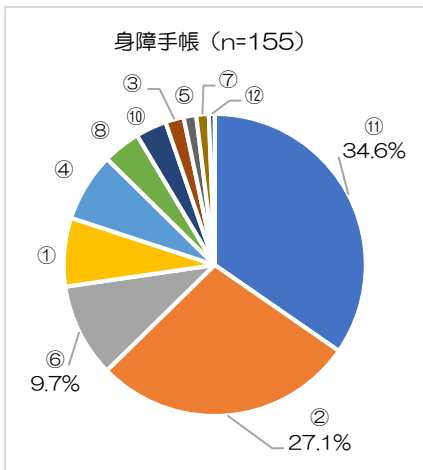
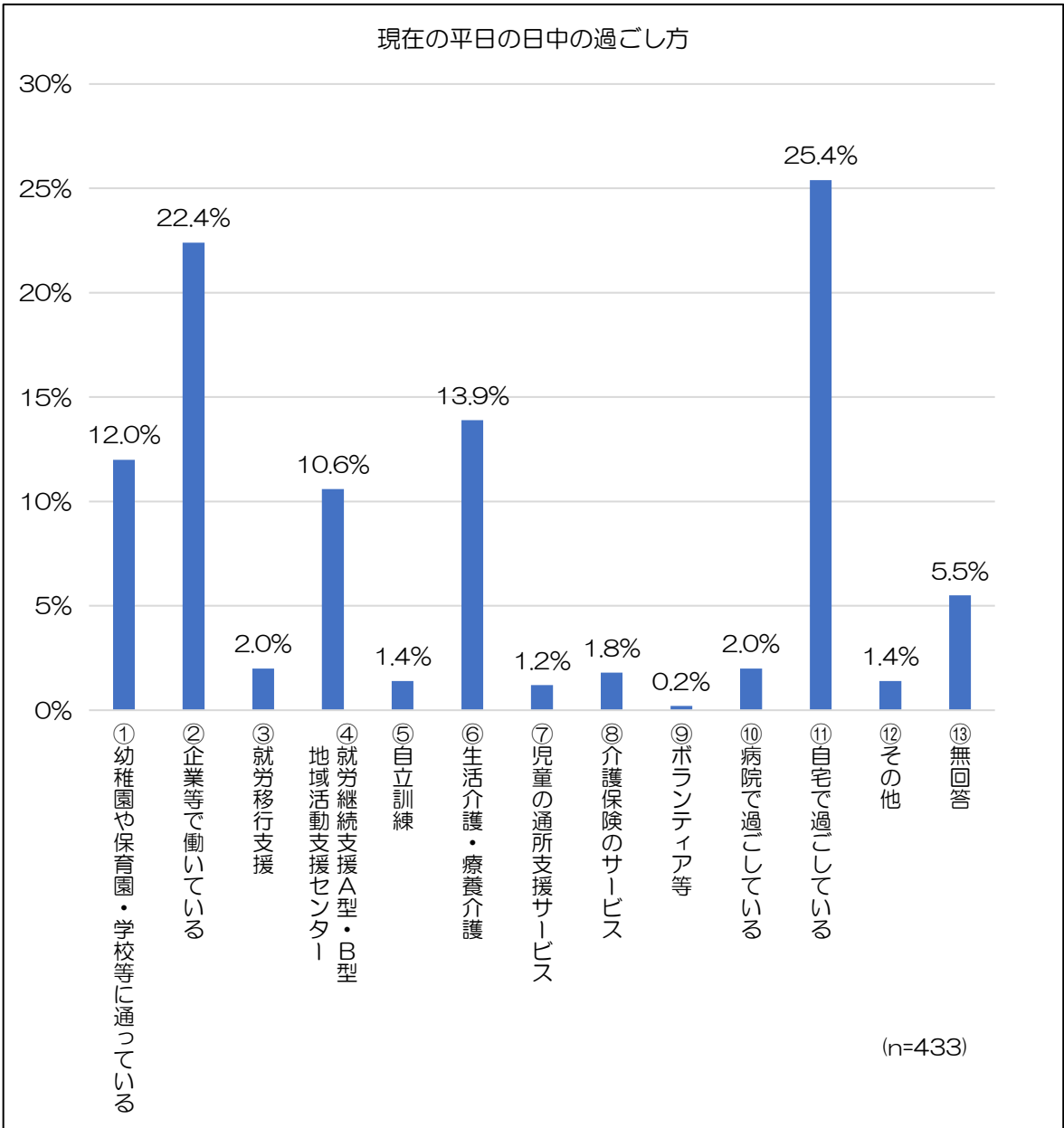
(単位：人)

①	幼稚園や保育園・学校等に通っている	52	12.0%
②	企業等で働いている(自営業・正職員・契約社員・派遣社員・パート・アルバイト等)	97	22.4%
③	就労をめざして訓練している(就労移行支援)	9	2.0%
④	就労継続支援 A 型・就労継続支援 B 型・地域活動支援センター等で働いている	46	10.6%
⑤	身体機能や日常生活の訓練が中心の施設で訓練している(自立訓練)	6	1.4%
⑥	生活介護・療養介護の施設で、日常生活の介護や支援を受けて過ごしている	60	13.9%
⑦	児童の通所支援サービスを利用している	5	1.2%
⑧	介護保険のサービスを利用している	8	1.8%
⑨	ボランティアなど、収入を得ない活動をしている	1	0.2%
⑩	病院で過ごしている(リハビリ・デイケアなどを含む)	9	2.0%
⑪	自宅で過ごしている(専業主婦(主夫)を含む)	110	25.4%
⑫	その他	6	1.4%
⑬	無回答	24	5.5%
アンケート回収数		433	100.0%

○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
		幼稚園や保育園・学校等に通っている	企業等で働いている	就労移行支援	就労継続支援A型・就労継続支援B型 地域活動支援センター等	自立訓練	生活介護・療養介護	児童の通所支援サービス	介護保険のサービス	ボランティア等	病院で過ごしている	自宅で過ごしている	その他	無回答	合計
性別	男性	40	70	5	26	2	33	4	4	0	6	50	5	9	254
	女性	12	22	4	19	4	26	1	4	1	3	58	1	7	162
	答えたくない	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	7
	無回答	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	7	10
年齢層別	18歳未満	50	0	1	1	0	0	5	0	0	0	3	0	2	62
	19～39歳	2	33	5	14	1	28	0	0	0	0	18	2	2	105
	40～64歳	0	55	2	29	4	22	0	2	1	6	46	4	7	178
	65歳以上	0	3	0	0	1	5	0	5	0	2	38	0	4	58
	無回答	0	6	1	2	0	5	0	1	0	1	5	0	9	30
手帳別	身障手帳	11	42	3	11	2	15	2	6	0	5	52	1	5	155
	療育手帳	45	23	2	19	3	53	5	0	0	1	15	0	2	168
	精神手帳	2	32	4	17	2	6	0	1	1	5	51	5	10	136
	無回答	0	1	0	4	0	1	0	1	0	0	1	0	8	16



※円グラフの各項目(①～⑬)は、回答数の多い順に並んでいます。

(2) 今後3年をめどにした平日の日中の過ごし方

問10 あて名ご本人は、今後3年をめどに平日の日中どのように過ごしたいですか。(主なもの1つに○)

「②企業等で働きたい」が最も多く、次いで「⑪自宅で過ごしたい」、「⑥生活介護・療養介護の施設で、日常生活の介護や支援を受けて過ごしたい」でした。

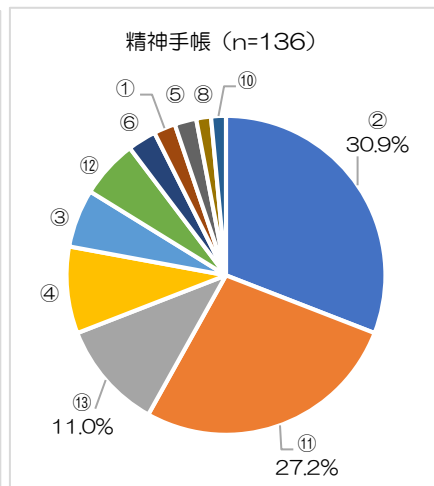
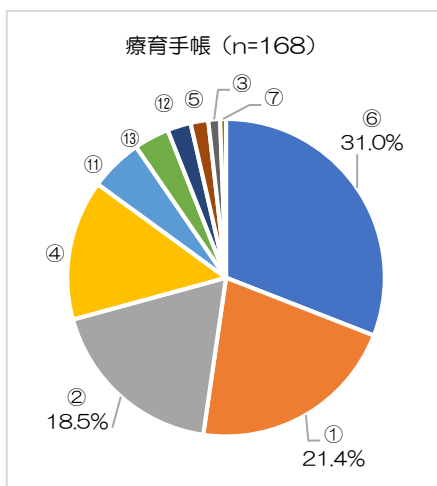
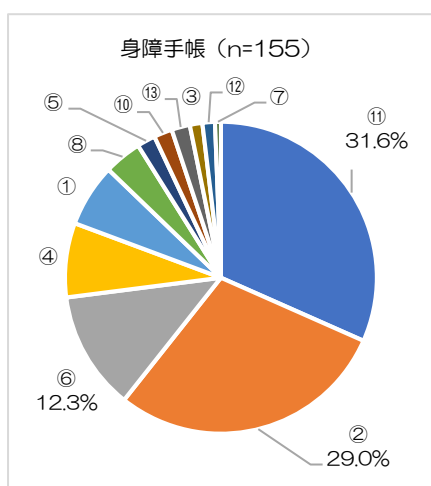
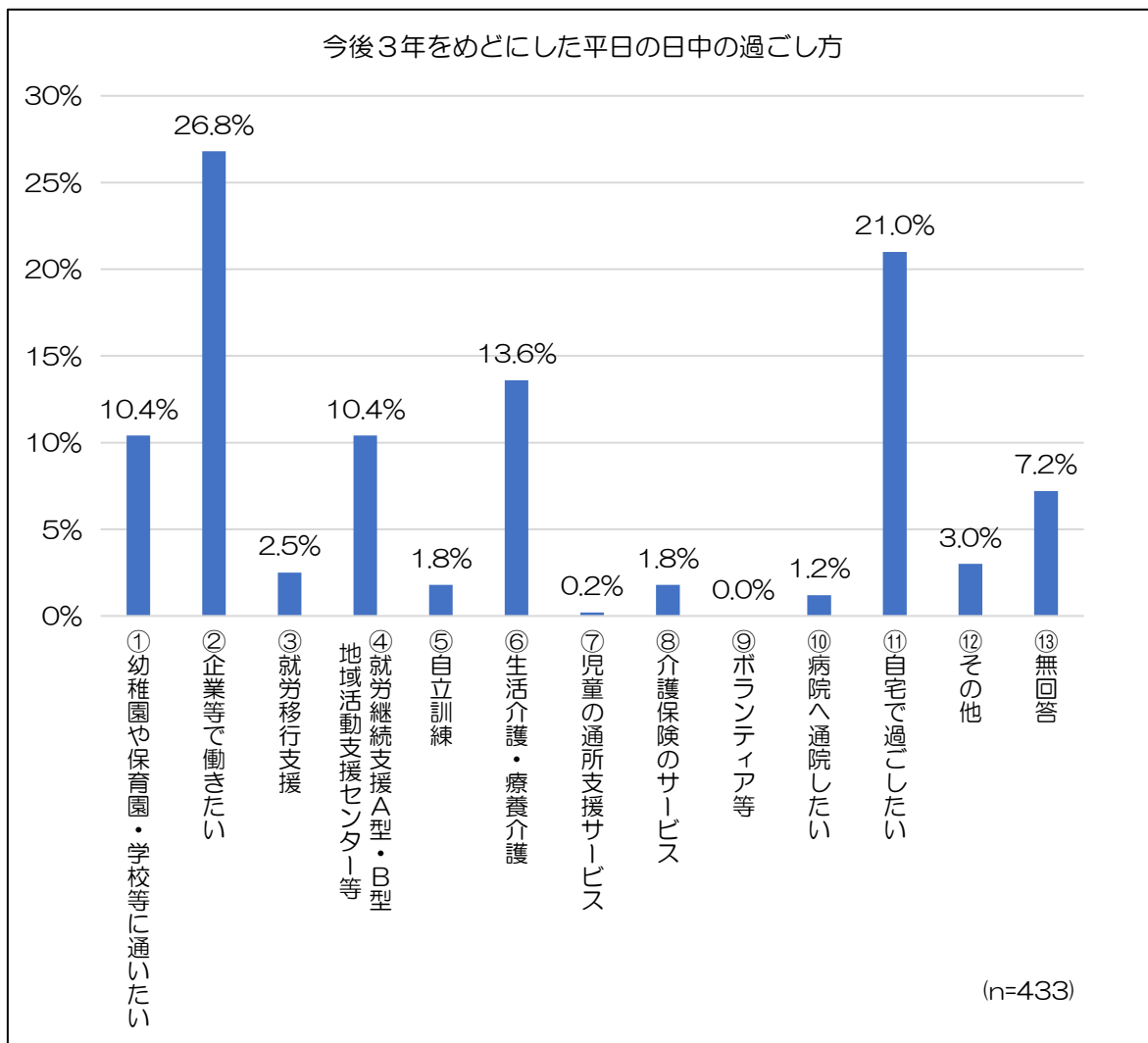
(単位：人)

①	幼稚園や保育園・学校等に通いたい	45	10.4%
②	企業等で働きたい(自営業・正職員・契約社員・派遣社員・パート・アルバイト等)	116	26.8%
③	就労をめざして訓練したい(就労移行支援)	11	2.5%
④	就労継続支援A型・就労継続支援B型・地域活動支援センター等で働きたい	45	10.4%
⑤	身体機能や日常生活の訓練が中心の施設で訓練したい(自立訓練)	8	1.8%
⑥	生活介護・療養介護の施設で、日常生活の介護や支援を受けて過ごしたい	59	13.6%
⑦	児童の通所支援サービスを利用したい	1	0.2%
⑧	介護保険のサービスを利用したい	8	1.8%
⑨	ボランティアなど、収入を得ない活動をしたい	0	0.0%
⑩	病院へ通院したい(リハビリ・デイケアを受けたいなど)	5	1.2%
⑪	自宅で過ごしたい(専業主婦(主夫)を含む)	91	21.0%
⑫	その他	13	3.0%
⑬	無回答	31	7.2%
アンケート回収数		433	100.0%

○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
		幼稚園や保育園・学校等に通いたい	企業等で働きたい	就労移行支援	就労継続支援A型・就労継続支援B型 地域活動支援センター等	自立訓練	生活介護・療養介護	児童の通所支援サービス	介護保険のサービス	ボランティア等	病院へ通院したい	自宅で過ごしたい	その他	無回答	合計
性別	男性	33	80	7	24	5	31	1	5	0	3	44	7	14	254
	女性	12	33	4	20	3	27	0	3	0	2	44	4	10	162
	答えたくない	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	7
	無回答	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	7	10
年齢層別	18歳未満	42	9	1	4	0	2	1	0	0	0	0	1	2	71
	19～39歳	3	38	4	15	0	25	0	0	0	0	11	3	6	105
	40～64歳	0	59	5	24	7	20	0	1	0	3	41	7	11	178
	65歳以上	0	2	0	0	1	7	0	6	0	2	36	1	3	58
	無回答	0	8	1	2	0	5	0	1	0	0	3	1	9	30
手帳別	身障手帳	10	45	2	12	3	19	1	6	0	3	49	2	3	155
	療育手帳	36	31	2	24	3	52	1	0	0	0	9	4	6	168
	精神手帳	3	42	8	12	3	4	0	2	0	2	37	8	15	136
	無回答	0	1	0	3	1	2	0	0	0	0	1	0	8	16



※円グラフの各項目(①～⑬)は、回答数の多い順に並んでいます。

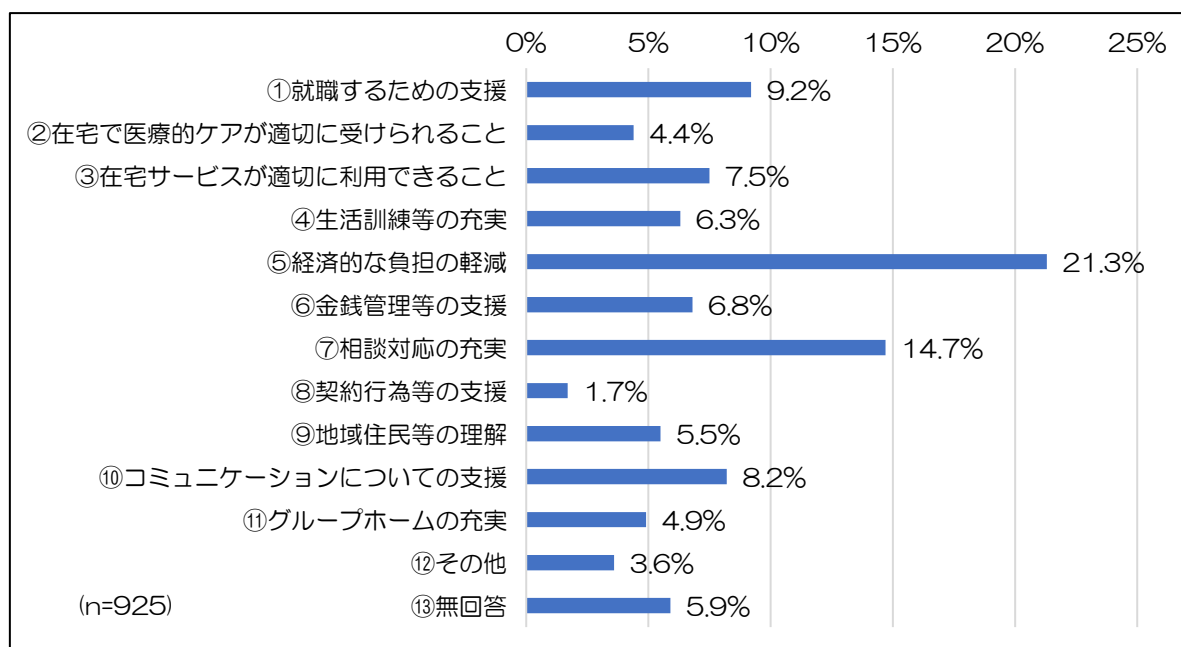
(3) 今後の平日の日中の過ごし方を実現するために必要なこと

問11 問10の過ごし方を実現するためにはどのようなことが必要だと感じますか。(主なものを3つに○)

「⑤経済的な負担の軽減」が最も多く、次いで「⑦相談対応の充実」、「①就職するための支援」でした。

(単位：人)

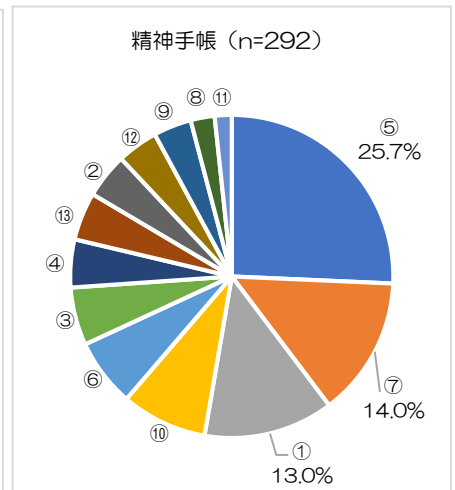
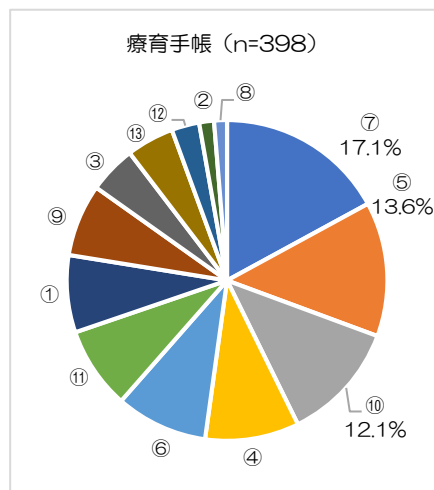
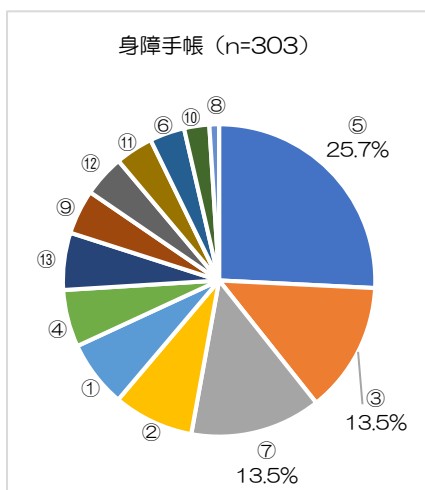
①	就職するための支援	85	9.2%
②	在宅で医療的ケアが適切に受けられること	41	4.4%
③	在宅サービスが適切に利用できること	69	7.5%
④	生活訓練等の充実	58	6.3%
⑤	経済的な負担の軽減	197	21.3%
⑥	金銭管理等の支援	63	6.8%
⑦	相談対応の充実	136	14.7%
⑧	契約行為等の支援	16	1.7%
⑨	地域住民等の理解	51	5.5%
⑩	コミュニケーションについての支援	76	8.2%
⑪	グループホームの充実	45	4.9%
⑫	その他	33	3.6%
⑬	無回答	55	5.9%
合計		925	100.0%



○性別・年齢層別・手帳別

(単位：人)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	合計
		就職するための支援	適切に受けられること 在宅で医療的ケアが	適切に利用できること 在宅サービスが	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	金銭管理等の支援	相談対応の充実	契約行為等の支援	地域住民等の理解	コミュニケーションに ついての支援	グループホームの充実	その他	無回答	
性別	男性	54	21	34	40	120	34	78	10	28	57	22	20	31	549
	女性	30	19	34	18	75	26	54	4	22	17	22	11	16	348
	答えたくない	1	0	0	0	1	1	3	1	1	2	0	2	1	13
	無回答	0	1	1	0	1	2	1	1	0	0	1	0	7	15
年齢層別	18歳未満	18	2	2	20	27	8	23	0	12	19	6	5	6	148
	19～39歳	19	7	13	20	43	18	35	7	18	26	14	5	13	238
	40～64歳	41	13	26	15	90	25	62	6	13	27	20	17	18	373
	65歳以上	0	17	25	2	27	5	11	1	6	2	3	3	8	110
	無回答	7	2	3	1	10	7	5	2	2	2	2	3	10	56
手帳別	身障手帳	21	25	41	18	78	11	41	3	14	8	12	13	18	303
	療育手帳	31	6	19	38	54	37	68	5	29	48	33	11	19	398
	精神手帳	38	13	17	14	75	20	41	7	11	25	5	12	14	292
	無回答	0	2	2	1	3	1	2	1	2	0	3	0	8	25



※円グラフの各項目(①～⑬)は、回答数の多い順に並んでいます。

4. 福祉サービス等の利用状況

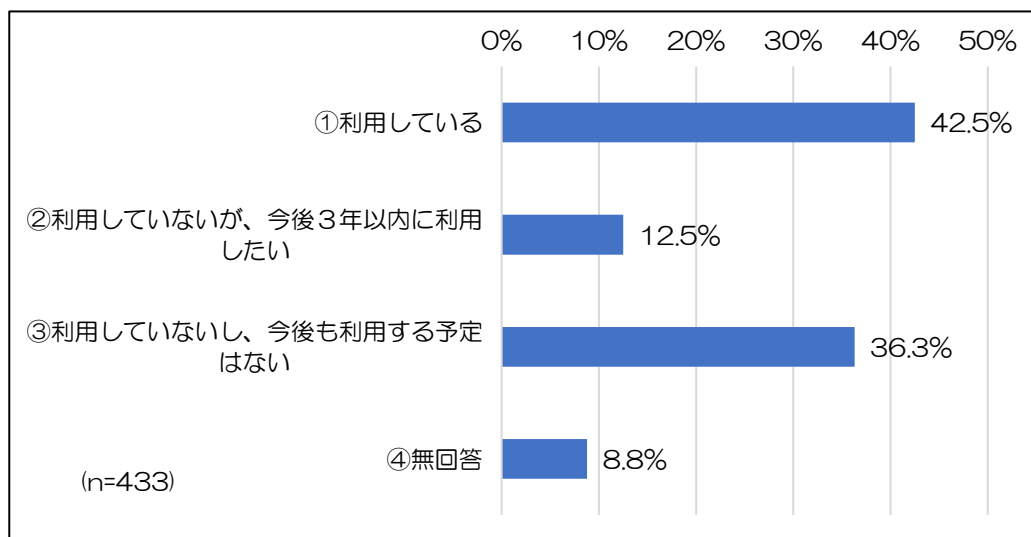
障害福祉のサービスについてうかがいます。

(1) 現在利用している障害福祉サービス等

問12 あて名ご本人は、現在、障害福祉サービス等を利用していますか。

「①利用している」が最も多く、次いで「③利用していないし、今後も利用する予定はない」でした。

①	利用している	184	42.5%
②	利用していないが、今後3年以内に利用したい	54	12.5%
③	利用していないし、今後も利用する予定はない	157	36.3%
④	無回答	38	8.8%
アンケート回収数		433	100.0%



問13 あて名ご本人が、現在利用している障害福祉サービス等に○をつけ、その満足度と利用量についてお答えください。また、今後3年以内に利用したい（利用し続けたい）サービスについても○をつけてください。利用していないサービスについてはお答えいただく必要はありません。（あてはまるものすべてに○）

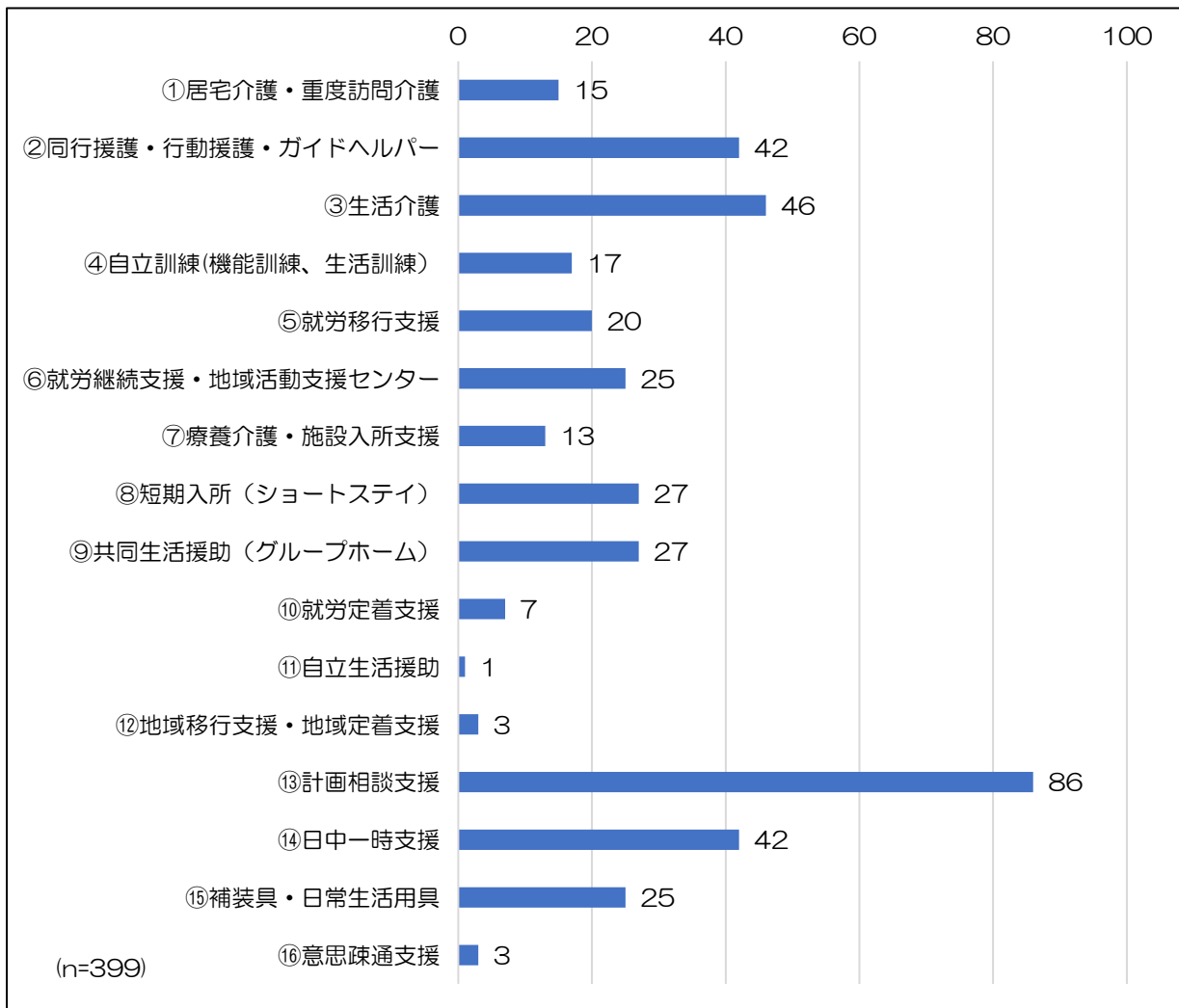
※障害福祉サービス受給者証をお持ちの方は、受給者証に記載されているサービス名をご参考にお答えください。

①現在利用している障害福祉サービス等

「⑬計画相談支援」が最も多く、次いで「③生活介護」、「②同行援護・行動援護・ガイドヘルパー」、「⑭日中一時支援」でした。

(単位：人)

	サービス名	回答数	割合
①	居宅介護・重度訪問介護	15	3.8%
②	同行援護・行動援護・ガイドヘルパー	42	10.5%
③	生活介護	46	11.5%
④	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	17	4.3%
⑤	就労移行支援	20	5.0%
⑥	就労継続支援・地域活動支援センター	25	6.3%
⑦	療養介護・施設入所支援	13	3.3%
⑧	短期入所（ショートステイ）	27	6.8%
⑨	共同生活援助（グループホーム）	27	6.8%
⑩	就労定着支援	7	1.8%
⑪	自立生活援助	1	0.3%
⑫	地域移行支援・地域定着支援	3	0.8%
⑬	計画相談支援	86	21.6%
⑭	日中一時支援	42	10.5%
⑮	補装具・日常生活用具	25	6.3%
⑯	意思疎通支援	3	0.8%
	合計	399	100.0%



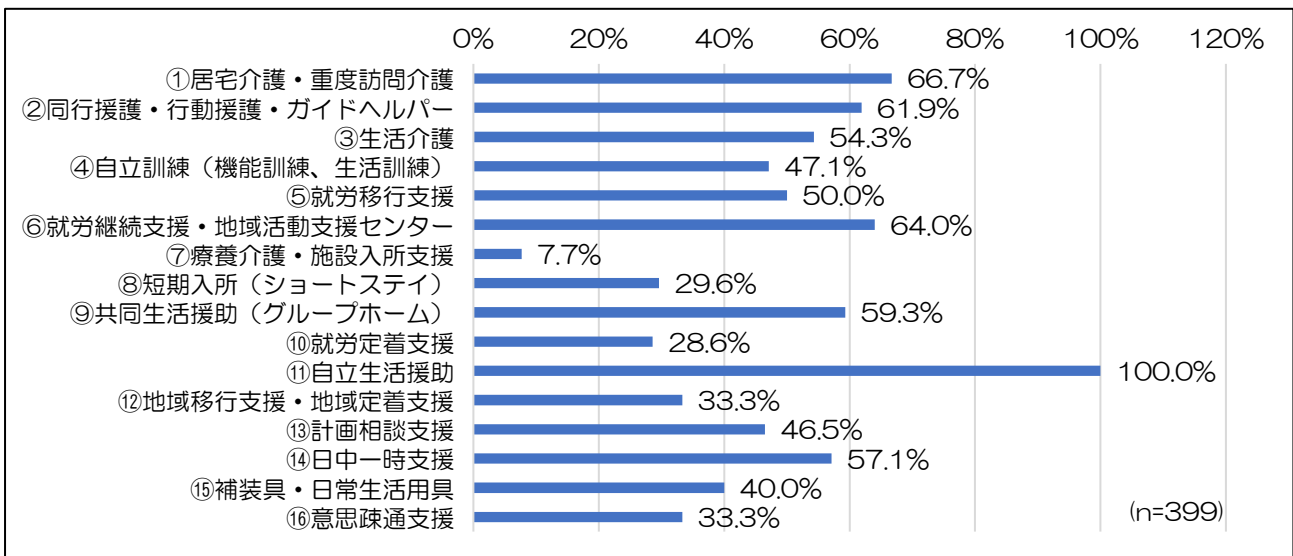
②満足度

「満足」と回答した方の割合について見ると、「満足」と回答した方の割合が最も高かったのは「⑪自立生活援助」、次いで「①居宅介護・重度訪問介護」、「⑥就労継続支援・地域活動支援センター」、「②同行援護・行動援護・ガイドヘルパー」、「⑨共同生活援助（グループホーム）」でした。

満足度 ※満足度＝満足÷合計

(単位：人)

	サービス名	満足	ふつう	不満	無回答	合計	満足度※
①	居宅介護・重度訪問介護	10	3	1	1	15	66.7%
②	同行援護・行動援護・ガイドヘルパー	26	11	4	1	42	61.9%
③	生活介護	25	20	0	1	46	54.3%
④	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	8	7	0	2	17	47.1%
⑤	就労移行支援	10	6	3	1	20	50.0%
⑥	就労継続支援・地域活動支援センター	16	8	1	0	25	64.0%
⑦	療養介護・施設入所支援	1	12	0	0	13	7.7%
⑧	短期入所（ショートステイ）	8	13	4	2	27	29.6%
⑨	共同生活援助（グループホーム）	16	11	0	0	27	59.3%
⑩	就労定着支援	2	5	0	0	7	28.6%
⑪	自立生活援助	1	0	0	0	1	100.0%
⑫	地域移行支援・地域定着支援	1	2	0	0	3	33.3%
⑬	計画相談支援	40	42	4	0	86	46.5%
⑭	日中一時支援	24	16	1	1	42	57.1%
⑮	補装具・日常生活用具	10	11	4	0	25	40.0%
⑯	意思疎通支援	1	2	0	0	3	33.3%
合計		199	169	22	9	399	

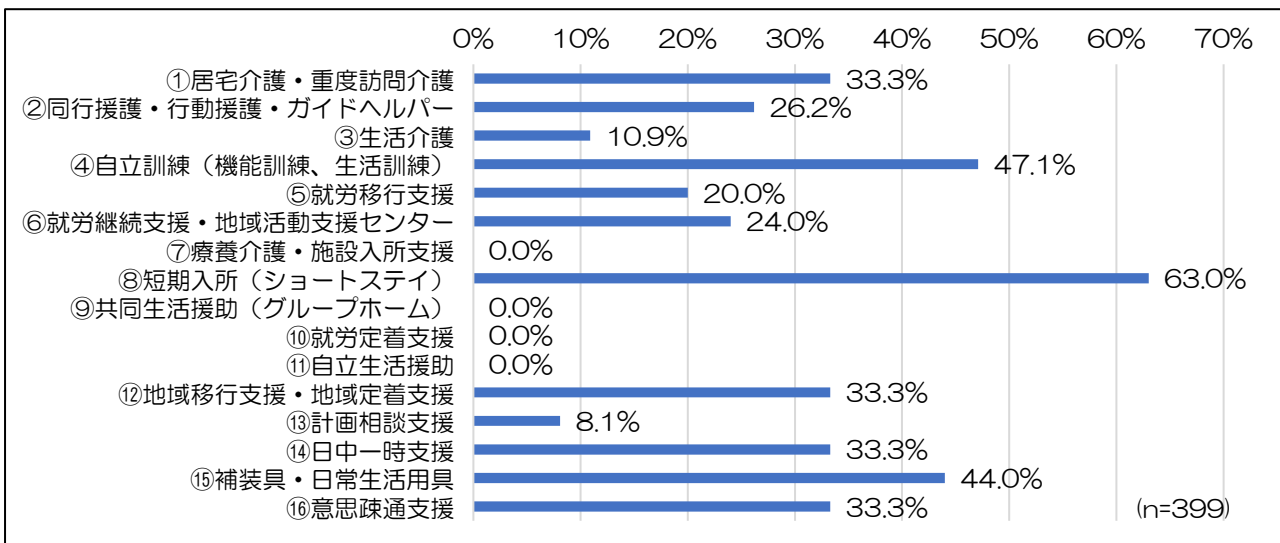


③利用量

利用量を「増やしたい」と回答した方の割合について見ると、「増やしたい」と回答した方の割合が最も高かったのは「⑧短期入所（ショートステイ）」、次いで「④自立訓練（機能訓練、生活訓練）」、「⑮補装具・日常生活用具」でした。

利用量 ※割合＝増やしたい÷合計 (単位：人)

	サービス名	増やしたい	今のまま	減らしたい	無回答	合計	割合※
①	居宅介護・重度訪問介護	5	8	0	2	15	33.3%
②	同行援護・行動援護・ガイドヘルパー	11	29	0	2	42	26.2%
③	生活介護	5	40	0	1	46	10.9%
④	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	8	9	0	0	17	47.1%
⑤	就労移行支援	4	15	1	0	20	20.0%
⑥	就労継続支援・地域活動支援センター	6	18	0	1	25	24.0%
⑦	療養介護・施設入所支援	0	13	0	0	13	0.0%
⑧	短期入所（ショートステイ）	17	8	0	2	27	63.0%
⑨	共同生活援助（グループホーム）	0	22	0	5	27	0.0%
⑩	就労定着支援	0	7	0	0	7	0.0%
⑪	自立生活援助	0	1	0	0	1	0.0%
⑫	地域移行支援・地域定着支援	1	2	0	0	3	33.3%
⑬	計画相談支援	7	71	2	6	86	8.1%
⑭	日中一時支援	14	24	1	3	42	33.3%
⑮	補装具・日常生活用具	11	13	0	1	25	44.0%
⑯	意思疎通支援	1	1	0	1	3	33.3%
	合計	90	281	4	24	399	



④今後3年以内に利用したい（利用し続けたい）障害福祉サービス等

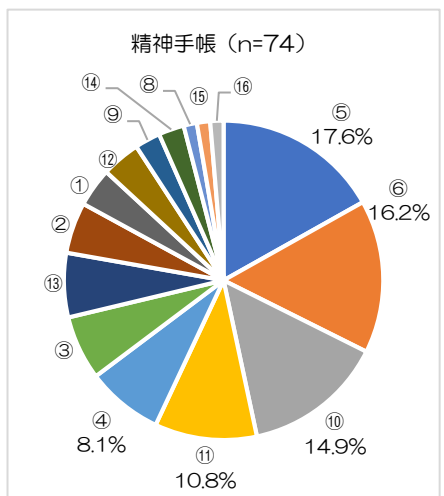
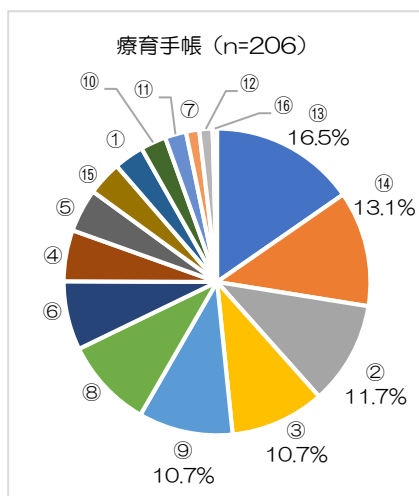
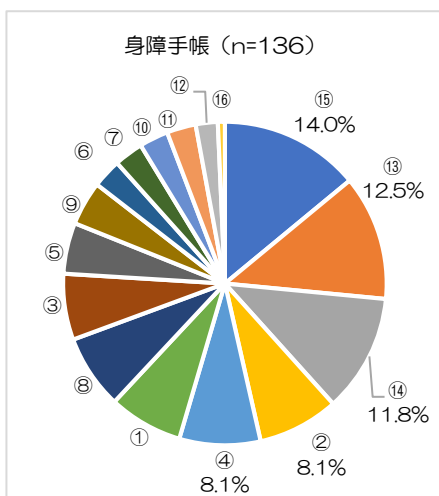
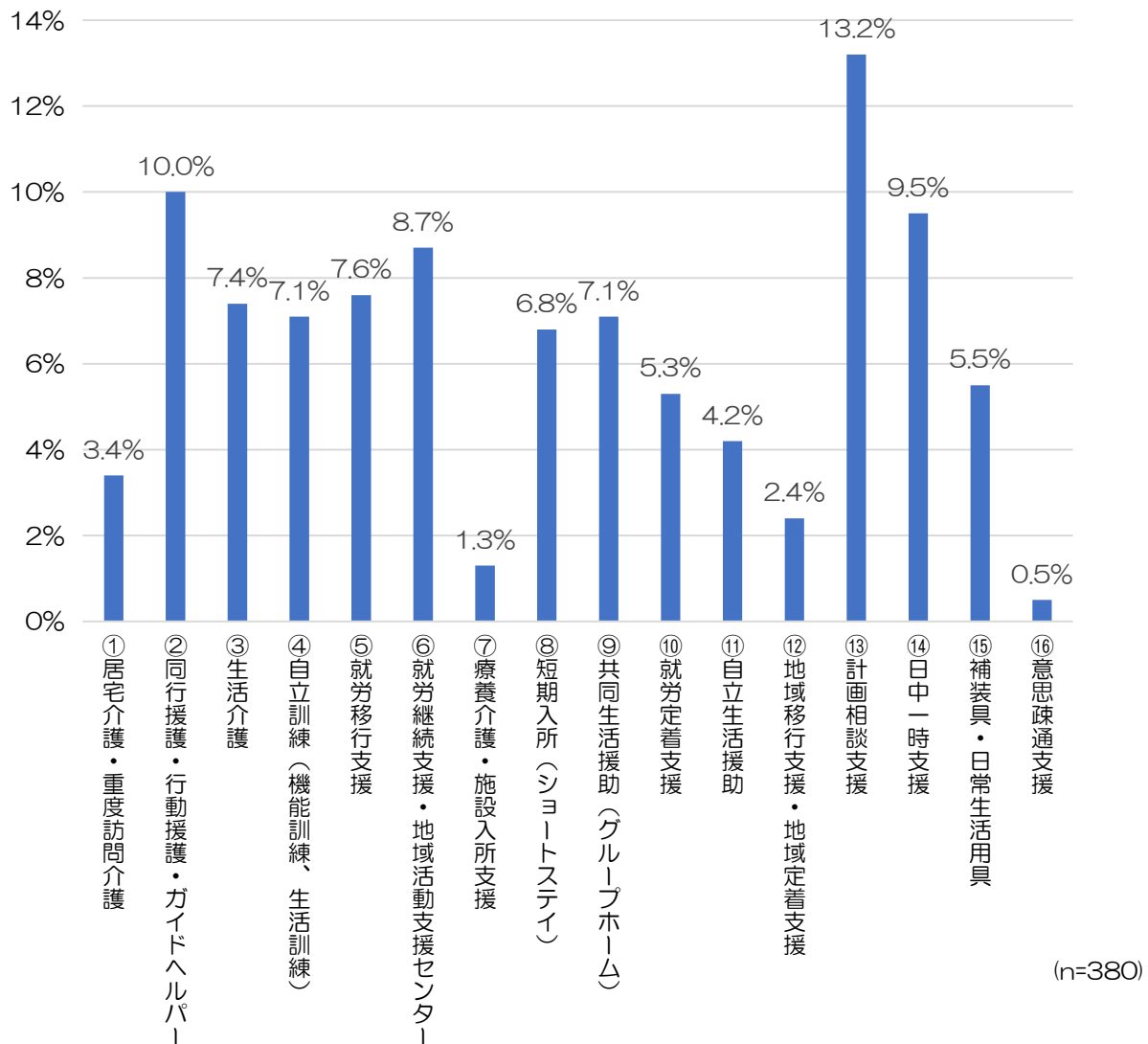
「⑬計画相談支援」が最も多く、次いで「②同行援護・行動援護・ガイドヘルパー」、「⑭日中一時支援」、「⑥就労継続支援・地域活動支援センター」、「⑤就労移行支援」でした。

今後3年以内に利用したい障害福祉サービス等

(単位：人)

	サービス名	回答数	割合
①	居宅介護・重度訪問介護	13	3.4%
②	同行援護・行動援護・ガイドヘルパー	38	10.0%
③	生活介護	28	7.4%
④	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	27	7.1%
⑤	就労移行支援	29	7.6%
⑥	就労継続支援・地域活動支援センター	33	8.7%
⑦	療養介護・施設入所支援	5	1.3%
⑧	短期入所（ショートステイ）	26	6.8%
⑨	共同生活援助（グループホーム）	27	7.1%
⑩	就労定着支援	20	5.3%
⑪	自立生活援助	16	4.2%
⑫	地域移行支援・地域定着支援	9	2.4%
⑬	計画相談支援	50	13.2%
⑭	日中一時支援	36	9.5%
⑮	補装具・日常生活用具	21	5.5%
⑯	意思疎通支援	2	0.5%
	合計	380	100.0%

今後3年以内に利用したい（し続けたい）障害福祉サービス等



※円グラフの各項目（①～⑯）は、回答数の多い順に並んでいます。

5. 我孫子市の障害者支援の取り組みについて

(1) 各施策の満足度

問14 各項目の満足度についてお答えください。

(単位：人)

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
① 障害に対する理解の促進	56	94	161	38	21	63
② 障害者の交流の場・機会づくり	22	54	223	37	16	81
③ ライフステージに応じた切れ目のない相談支援体制	31	66	191	47	18	80
④ 地域の施設や事業所との連携	37	80	179	31	17	89
⑤ 障害者の権利擁護（成年後見など）の推進	18	38	246	32	11	88
⑥ 地域で安心して暮らすための障害福祉サービス等の充実	26	70	196	45	21	75
⑦ 聴覚障害や失語症などのコミュニケーションに関する支援	8	31	261	13	5	115
⑧ わかりやすい情報提供	21	67	184	52	21	88
⑨ 地域で生活するための住まいの場の整備（グループホームの整備）	19	43	216	39	30	86
⑩ 日中活動を安心して行える場所の充実	35	72	187	39	21	79
⑪ 保健・医療支援に関する事業	43	84	167	45	17	77
⑫ 福祉サービス事業者への支援	25	60	211	33	16	88
⑬ 障害者の就労・社会参加に関する支援	20	58	207	38	20	90
⑭ バリアフリーのまちづくり	15	60	191	54	31	82
⑮ 防災・災害・緊急時の対策	21	63	194	51	22	82

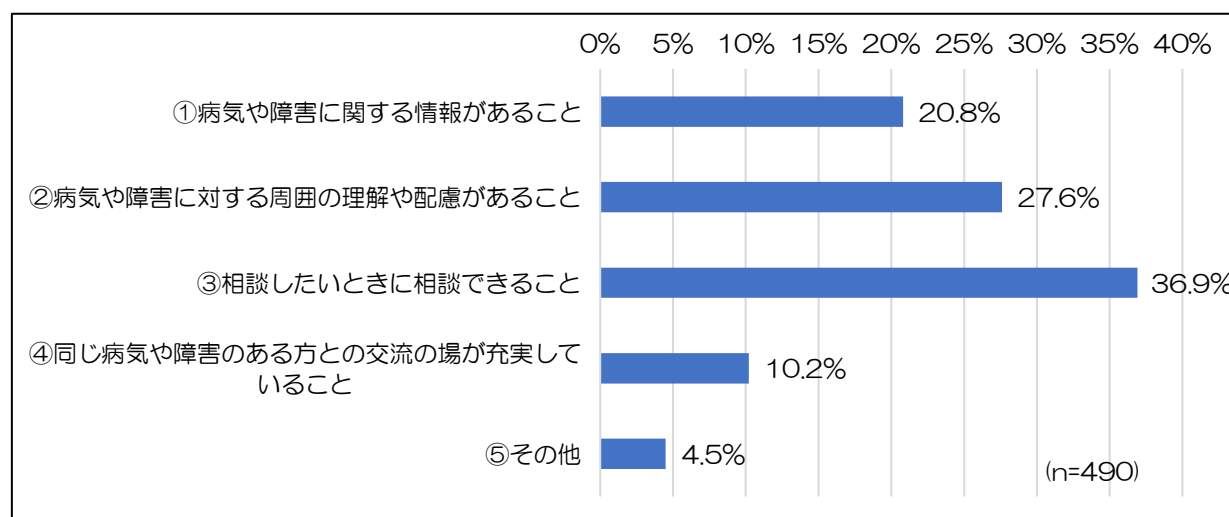
(2) 病気や障害の発症予防、重度化予防のために必要なこと

問15 病気や障害の発症予防のため、もしくは重度化の予防のために、特に必要なことは
 どんなことだと思いますか？

「③相談したいときに相談できること」が最も多く、次いで「②病気や障害に対する周囲の理解や配慮があること」、「①病気や障害に関する情報があること」、「④同じ病気や障害のある方との交流の場が充実していること」でした。

(単位：人)

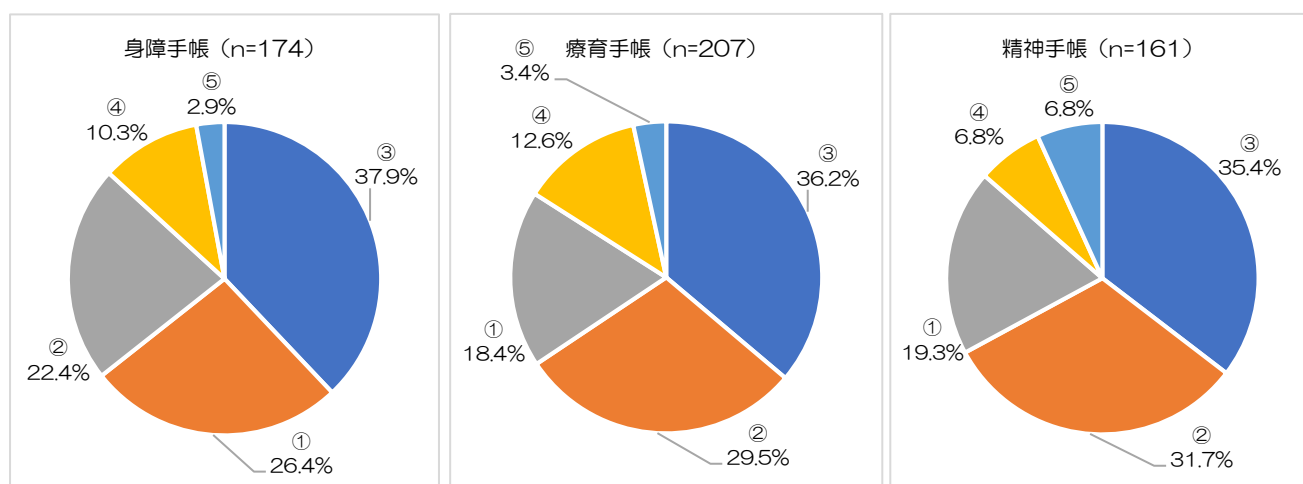
①	病気や障害に関する情報があること	102	20.8%
②	病気や障害に対する周囲の理解や配慮があること	135	27.6%
③	相談したいときに相談できること	181	36.9%
④	同じ病気や障害のある方との交流の場が充実していること	50	10.2%
⑤	その他	22	4.5%
合計		490	100.0%



○性別・年齢層別・手帳別

(単位:人)

		①	②	③	④	⑤	合計
		病気や障害に関する 情報があること	病気や障害に対する周囲の 理解や配慮があること	相談したいときに 相談できること	同じ病気や障害のある方 との交流の場が充実 していること	その他	
性別	男性	64	79	102	32	14	291
	女性	37	54	74	18	7	190
	答えたくない	1	2	4	0	1	8
	無回答	0	0	1	0	0	1
年齢層別	18歳未満	17	22	25	14	3	81
	19～39歳	24	40	47	14	3	128
	40～64歳	41	56	78	16	14	205
	65歳以上	15	11	21	4	0	51
	無回答	5	6	10	2	2	25
手帳別	身障手帳	46	39	66	18	5	174
	療育手帳	38	61	75	26	7	207
	精神手帳	31	51	57	11	11	161
	無回答	1	2	3	0	0	6



※円グラフの各項目(①～⑤)は、回答数の多い順に並んでいます。

6. その他障害福祉についてのご意見

その他障害福祉について、困っていることやご意見等がありましたらお聞かせください。

情報提供（8件）

- 受けられるサービスが自分で調べないとわからない。
- 音声ガイダンスが少なすぎる。

行政手続き（12件）

○申請場所（5件）

- 行政サービスセンターでも事が済むようにしてほしい。わざわざ市役所まで行くのが面倒。大変。障害者に優しくない。

○手続きの簡略化（5件）

- おむつの申請の簡略化はできないのか？現在、申請者が、市に申請書、販売店に見積もりを要請し、給付券が来たら販売店に発注をお願いし入荷したら取りに行くようになっていますが、介護をしている中で負担を少しでも減らすために、あらかじめ販売店を登録しておいて、市に申請書を提出したら市と販売店でやりとりをしてもらい、入荷連絡後取りに行くというフローにしてもらえると助かります。
- 障害者手帳の更新の頻度をもう少し少なく（期間を長く）してほしい。

○手続きの電子化・バリアフリー化（2件）

- 申請等の電子化を促進してほしい。

障害理解・啓発（9件）

- 市民全体で障害を持つ人をフォローするような、認めて理解してくれるようになってほしい。
- 多くの人に知ってもらうための情報発信や対策、知ってもらえる機会などを設けて、一般の人からの偏見などをなくしてもらいたい。

相談体制（21件）

○相談支援の質や相談体制の充実・改善（13件）

- 担当者が変わると障害者の情報が共有されていない。問題が起きると、この点についてはA、こちらはBと、たらい回し的になりがちに思う。総合的に把握している人がいたらと思う。
- グループホーム他、福祉サービスを受けるための仕組みが複雑すぎます。もっと丁寧な説明を求めます。

- ・障害が進んでいるから、もう少し福祉と病院を繋げてもらえたらいいと思う。そうしたら、もう少し本人の進み具合が会社に伝わると思います。

○将来への不安（8件）

- ・親、兄弟がいなくなったらどうしようと思ってます。
- ・本人が入院中のため代筆です。現在入院中のため、特に問題はありませんが、義兄が書いています。義兄の私が高齢のため今後が心配です。」

サービス・助成制度（34件）

○施設の数（13件）

- ・子供の日中一時支援の事業所が1か所しかなく、支給された時間分利用することができない。市内にショートステイ（子供向け）がなく、他市まで片道1時間で送迎しているが、あまりレスパイトになっていない（負担が大きい）。
- ・特支卒業後の市内の所属先（選択肢）の充実化を進めて頂きたい。

○重度障害や医療的ケアに対応できる施設（8件）

- ・グループホームや重度の障害を持った子の日中の居場所をもっと増やして頂きたいです。
- ・市内に医療的ケアの必要な利用者に対応出来る施設が全くなく他市の施設をショートステイ利用している。今後のグループホームへの希望も含め市としてどのように考えているのか不明。
- ・重複障害対応のグループホームがない。利用できるショートステイもなく、家族の負担ばかり多くなり、働き方も難しく疲弊してしまう。本人だけでなく家族の健康が不安で、心配が付きにくい。

○施設に対する指導・監督（2件）

- ・福祉人材が不足している中で、労働環境悪化による障害者への人権侵害（虐待等）を懸念している。事業所への監督、指導をしっかりとお願いしたい。

○福祉サービス従事者（2件）

- ・ガイド等、使いたくてサービス量を確保して契約をしても、人材不足等により使いづらい現実がある。市からの働きかけも難しいところがあると思うが、使いたい時に使えるようになると良いと思っている。

○手当・助成制度（7件）

- ・タクシー利用券をもっと高額に使えるようにしてほしい。
- ・障害者本人の月々の手当が、親の所得によって支給されなくなるのはおかしいと思う。手帳を持っている本人には平等に支給してほしい。
- ・聴覚障害で補聴器をつけているが、購入する時の機種限定の制限をなくしてほしい。実際には、手出しして別の機種に変えたりしている。見た目やサイズ感、使い勝手など聴覚障害者のこだわりもあることをわかっていたきたい。

○障害者福祉センター（2件）

- 障害者福祉センターの機能訓練に週に一度通っています。令和9年度には閉鎖されると伺い、大変困惑しています。障害を持つ者が気兼ねなく集まったり、身体を動かせる場はなかなかありません。また、障害者が自分で公共機関を使って移動することは困難です。建物の老朽化は仕方ありませんが、ぜひ、機能訓練だけでも別の場所で継続していただけないでしょうか？
- 障害者福祉センターでの運動に週1回参加していますが、施設の老朽化でなくなるのとこと。運動する場が必要です。（とても助かっていたのです）ぜひ続けてできる場を作ってください。

経済（12件）

- 一人暮らしをしたいが、一人暮らしを継続していける収入がないためできない、諦めているような状態なので、金銭面の補助などが上がるといいなと思います。
- 作業所の工賃が最低賃金の約10分の1なのは納得できません。

医療（5件）

- 近くに障害の治療に該当する専門病院がなく、車で1時間ほどかけ他市の病院に通院している。今後病気が進行し、また介助者が高齢になってくるので、そうなった時に通院や介助がどうなるのか一番心配である。

インフラ整備（4件）

- 天王台駅から郵便局までの歩道に点字ブロックが設置されていない側がある。また、歩道が狭く電柱が障害となっている。
- 公共交通機関の移動経路となる場所にベンチなどの適宜休憩できる設備がほしいです。休み休み歩くのですが、駅などの要所で一休みしたいため。
- 障害者が気兼ねなく外出できる街づくりを希望します。子どもが車椅子利用者ですが、歩道の整備、確保がされていないので、非常に不便です。これから先1人で車椅子で移動しようとしても、車椅子が通れる歩道の幅がない、歩道の整備がされていないので、不安です。具体的には、我孫子駅から台田地区へ続く、356号です。6号に続く道です。あびバスについては、本数が少なく、市が運行するバスはノンストップではないので、遠くのバス停を利用するしかありません。

就労（2件）

- 障害者の正社員の雇用をもっと増やしてほしい。

社会参加・余暇活動（5件）

- 知的障害者の運動や悩みなどの活動ができる場がないので、やりたいのにできないので困っています。
- 特別支援学校高等部を卒業してしまうと、楽しく体を動かす機会が激減するので（通常のスポーツジムには通いにくい）、卒後の体力作り・余暇活動の場が一層充実されるといいなと願います。「パラスポーツの会」のような場がもっと増えるとありがたいです。

その他（28件）

上記分類には該当しない意見として、「行政全般への意見」（2件）や「感謝・応援等メッセージ」（7件）、「アンケートへの意見」（4件）、また回答者個人の状況（9件）が寄せられました（その他分類不能な意見が6件ありました）。